

第6次稲沢市総合計画に係る 2015年度の取り組み・調査概要

目次

各種アンケート結果	1
将来のまちづくりに関するアンケート調査結果	2
結婚・出産・子育てに関するアンケート調査結果	19
稲沢市へのターンに関するアンケート調査結果(ネットリサーチ)	21
若者の進路選択等に関するアンケート調査結果	25
地区ワークショップ	29
市民インタビュー	32
次世代によるまちづくり提案	34

各種アンケート結果

「第6次稲沢市総合計画」の策定に向け、より良いまちづくりの方向性や、政策ニーズを探るため、下記アンケートを実施した。調査分野によってアンケート対象者を分け、回答者の感じる現状・課題、価値観等を意見収集した。

将来のまちづくりに関するアンケート調査	
調査目的	市民が認識している地域課題や将来のまちづくり意向などの把握
調査対象	稲沢市に住民登録のある16歳以上の男女(3,000人)
主な調査項目	定住や居住環境、将来のまちづくり
回答者数	1,096人（有効回答率36.5%）

結婚・出産・子育てに関するアンケート調査	
調査目的	結婚、出産、子育てを控えた市民、もしくは近年経験した市民を対象として、結婚や出産に対する価値観や子育て環境による評価等を把握する
調査対象	稲沢市に住民登録のある16歳～39歳の男女(1,000人)
主な調査項目	住や居住環境、結婚・出産・子育て、仕事と家庭の両立
回答者数	263人（有効回答率26.3%）

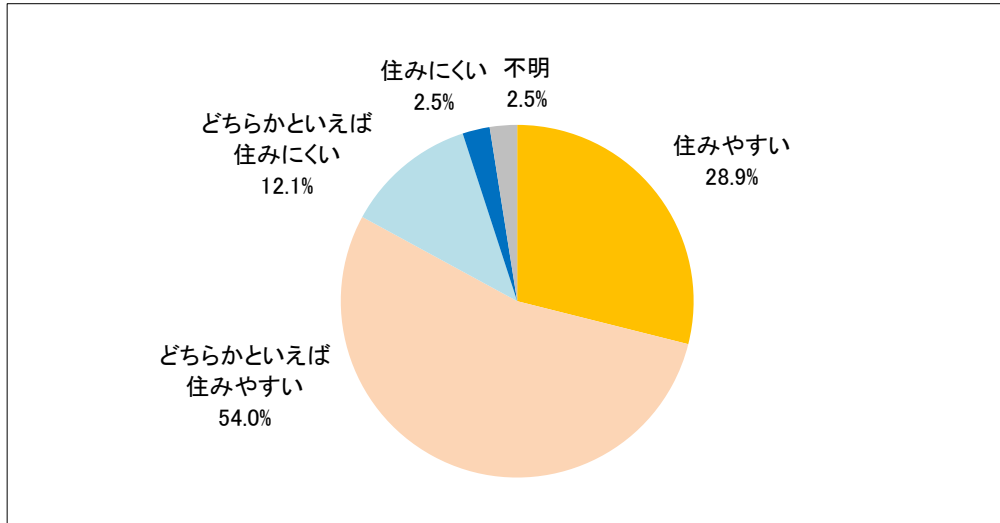
稲沢市へのターンに関するアンケート調査(ネットリサーチ)	
調査目的	市外在住者における地方移住あるいは稲沢市へのターン(首都圏などから稲沢市への移住)の可能性や希望条件について把握する
調査対象	稲沢市の転入が期待される20歳以上の男女500人 ・愛知県尾張地域の在住・在勤者(ただし稲沢市在住者は除く)250人 ・首都圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)の在住者250人
主な調査項目	住み替えに対する希望や条件、稲沢市の認知度と居住の可能性
回答者数	516人（首都圏258人、名古屋圏258人）

若者の進路選択等に関するアンケート調査	
調査目的	稲沢市の若者の学校卒業後の進路等に関する意向などを把握する
調査対象	稲沢市に住民登録のある学齢で高校2年生(17歳)及び大学2年生(20歳)(1,300人)
主な調査項目	稲沢市に対する思い、将来の進路、稲沢市の企業
回答者数	257人（有効回答率19.8%）

将来のまちづくりに関するアンケート調査結果

問 8 稲沢市の住みやすさについては、いかがですか。(SA) (結婚・出産・子育て：問 5)

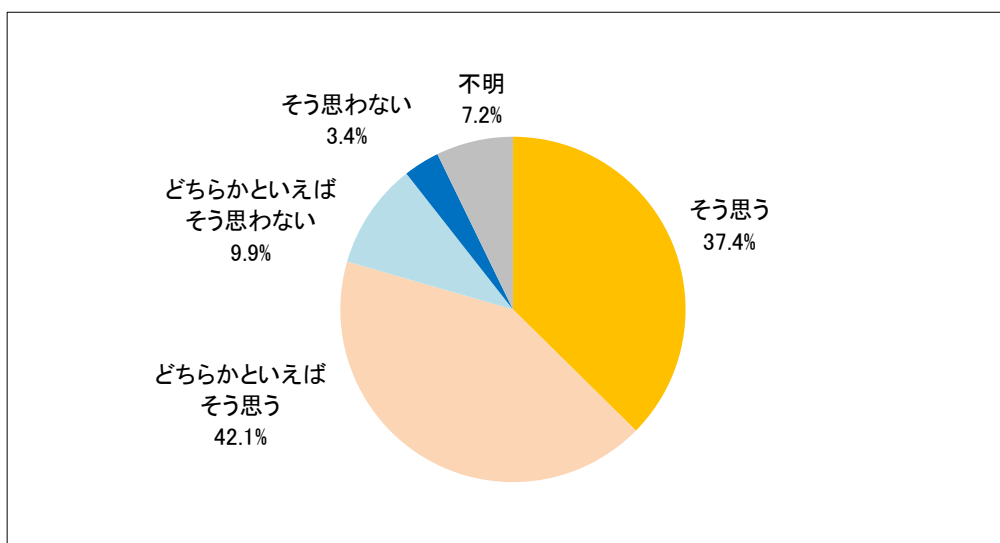
「住みやすい (28.9%)」、「どちらかといえば住みやすい (54.0%)」の合計が 8 割超となっており、評価は高い。



(n=1,359)

問 10 今後も稲沢市に住み続けたいと思いますか。(SA) (結婚・出産・子育て：問 7)

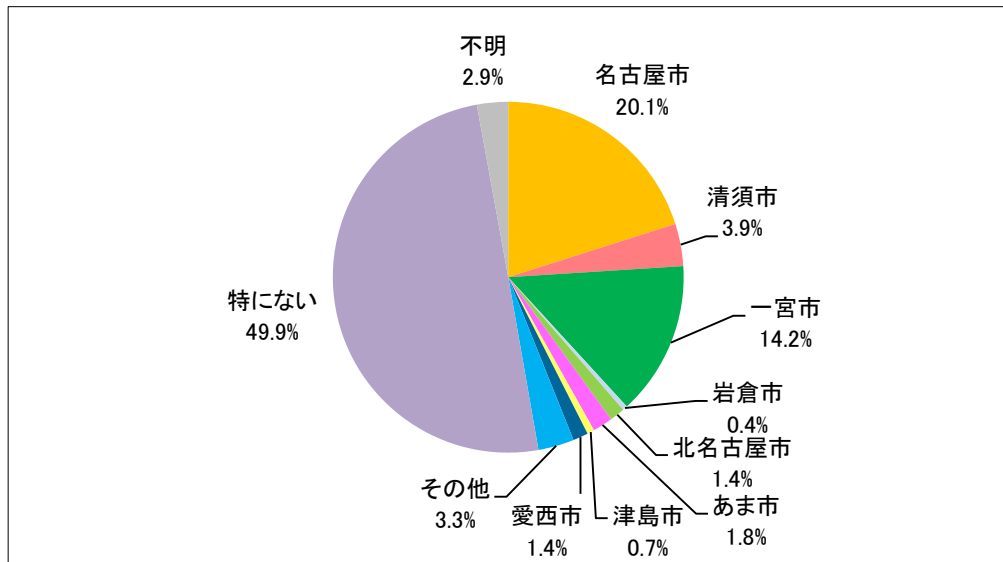
「そう思う (37.4%)」、「どちらかといえばそう思う (42.1%)」を合わせて約 8 割であり、肯定的な意見が大半を占める。



(n=1,359)

問 11 稲沢市より住みやすそうと思う近隣のまちはありますか。(SA) (結婚・出産・子育て：問 8)

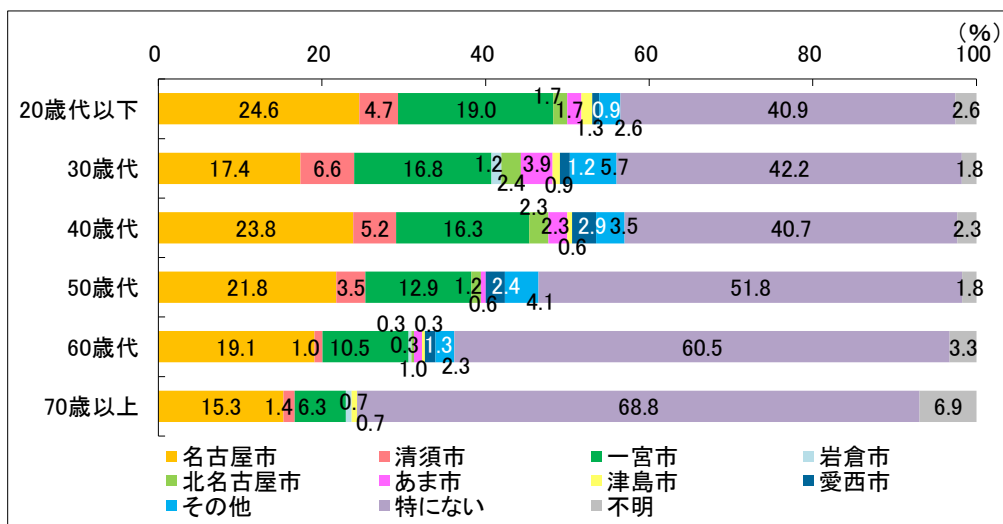
「名古屋市 (20.1%)」が最も高く、次いで「一宮市 (14.2%)」、「清須市 (3.9%)」となっている。なお、「特にない (49.9%)」は5割を占めている。



(n=1,359)

【クロス集計結果 (年代別)】

各年代とも「名古屋市」、「一宮市」の順に高く、40歳代以下で割合が高い傾向にある。これは、40歳代までは就職・結婚・持家取得などの移動が想定されるライフステージにあり、近隣市に関心を持ちやすいためと考えられる。

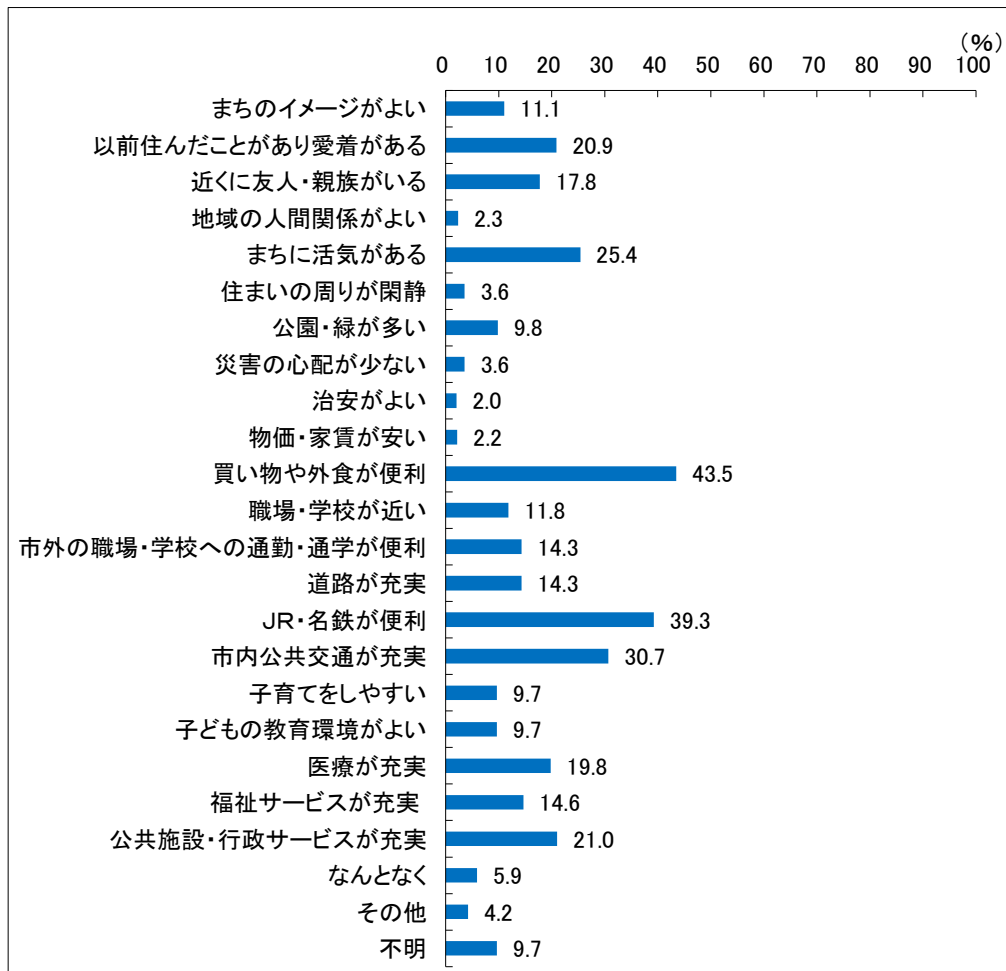


(n : 20歳代以下=232、30歳代=334、40歳代=172、50歳代=170、60歳代=304、70歳以上=144)

問 12 なぜ問 11 で選んだまちが住みやすいと思えましたか。(MA：当てはまるもの全て)

(結婚・出産・子育て：問 9) (問 11「稲沢市より住みやすそうと思う近隣のまちはありますか」で「10 特にない」以外を選択した方のみ)

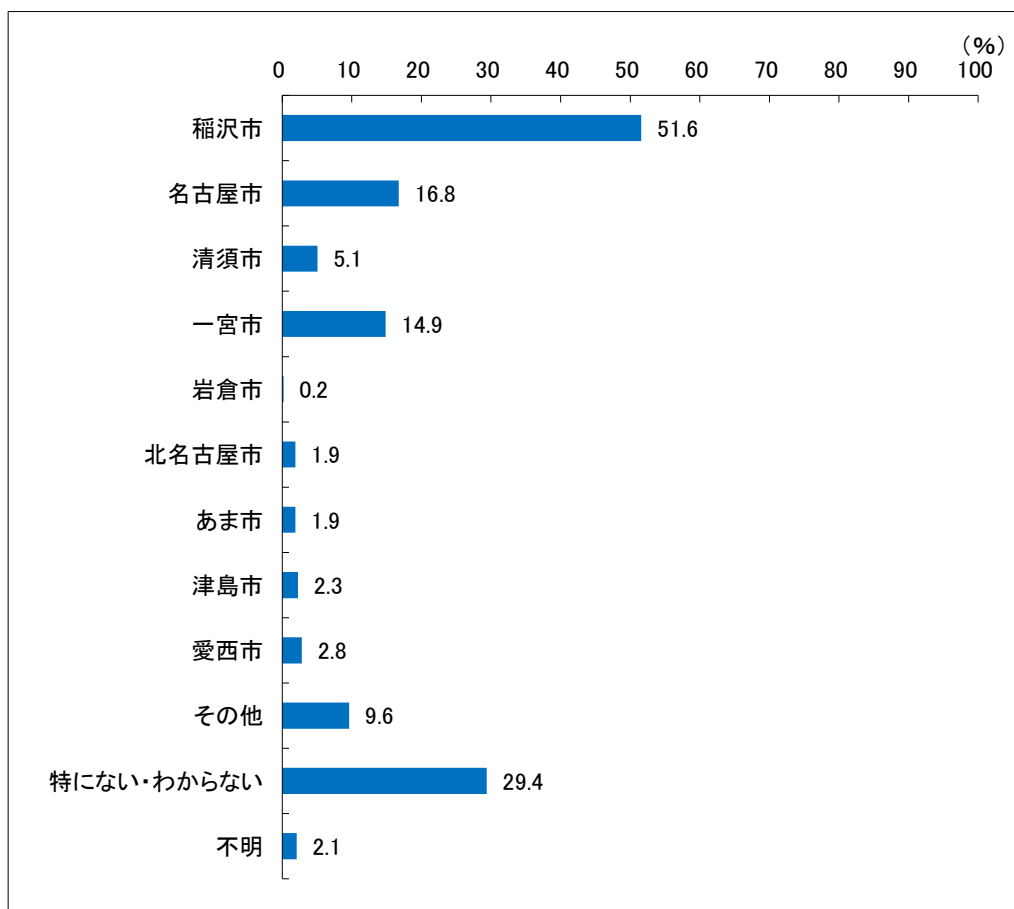
稲沢市よりも近隣のまちが住みやすい理由として、「買い物や外食が便利 (43.5%)」、「JR・名鉄が便利 (39.3%)」、「市内公共交通が充実 (30.7%)」の順に高く、買い物や公共交通の利便性に関する項目の割合が高い。この上位 2 項目については、問 9 (なぜ稲沢市を住みやすいと思えましたか) の上位項目にも現れており、住民が居住地を選ぶ際の重要な判断基準となっていることがうかがえる。



(n= 642)

問 14 将来、自分または配偶者名義の持ち家をもつとしたら、どこが候補になりますか。(MA：3 つまで) (結婚・出産・子育て：問 11) (問 13「あなたの現在の住まいについて選んでください」で「1 親名義の住宅」～「4 寮・社宅」を選択した方のみ)

将来の自分または配偶者名義の持ち家を持つ候補地としては、「稲沢市」が 51.6%と突出して高く、稲沢市内へ住みつづけることを検討する回答が半数を占めている。次いで「名古屋市 (16.8%)」、「一宮市 (14.9%)」、「清須市 (5.1%)」となっている。これら 3 市は問 11 (住みやすそうと思う近隣のまち) の上位 3 市と一致しており、住みやすいまちと認知されることは、持ち家を所有するための候補地になることにつながるものが伺える。なお、「特にない・わからない (29.4%)」は約 3 割を占めている。

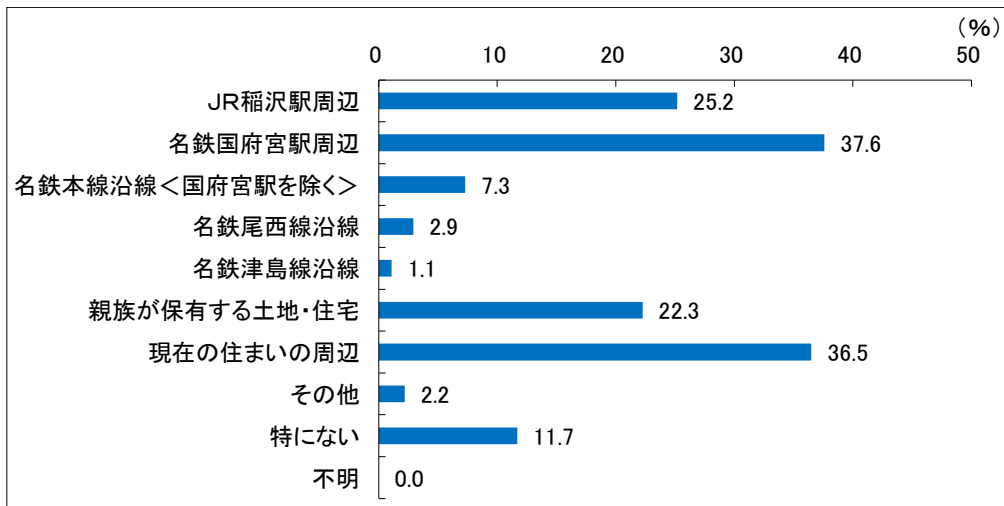


(n= 531)

問 15 稲沢市内のどこに住みたいか希望や予定がありますか。(MA：2つまで)

(結婚・出産・子育て：問 12) (問 14「将来、自分または配偶者名義の持ち家をもつとしたら、どこが候補になりますか。」で「1 稲沢市」を選択した方のみ)

稲沢市内における居住希望地は、「名鉄国府宮駅周辺 (37.6%)」が最も高いものの、同程度の割合で「現在の住まいの周辺 (36.5%)」が続いている。また、「JR 稲沢駅周辺 (25.2%)」、「親族が保有する土地・住宅 (22.3%)」についても 2 割超となっている。

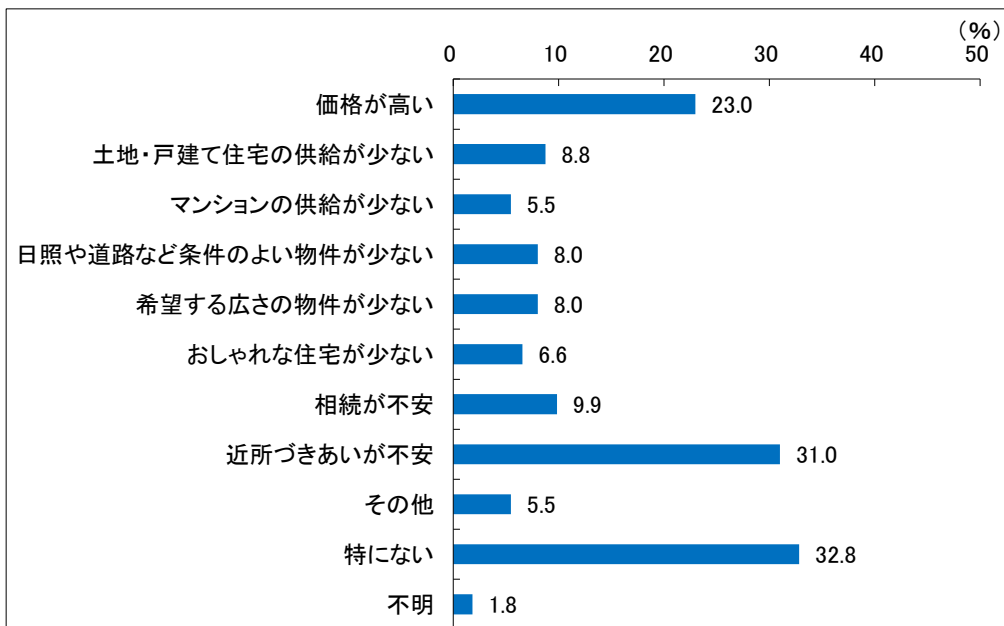


(n=274)

問 16 稲沢市内で住宅を探す際に不安に思うことはありますか。(MA：2つまで)

(結婚・出産・子育て：問 13) (問 14 で「1 稲沢市」を選択した方のみ)

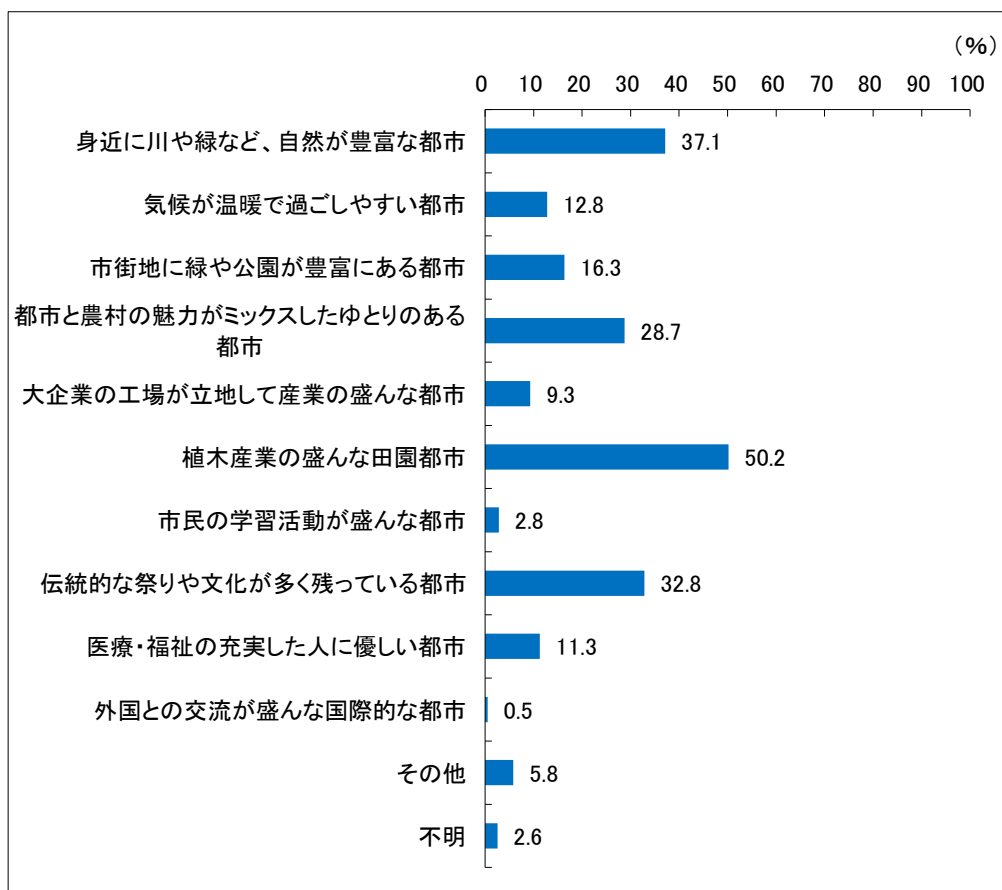
稲沢市内で住宅を探す際の不安としては「近所づきあいが不安 (31.0%)」が最も高く、次いで「価格が高い (23.0%)」となっている。なお、「特にない (32.8%)」が 3 割超を占める。



(n=274)

問 17 稲沢市について、現状ではどのような都市イメージを持っていますか。(MA：3つまで)

稲沢市のイメージとして「植木産業の盛んな田園都市 (50.2%)」が最も多く、次いで「伝統的な祭りや文化が多く残っている都市 (32.8%)」、「身近に川や緑など、自然が豊富な都市 (37.1%)」、「都市と農村の魅力がミックスしたゆとりある都市 (28.7%)」となっており、自然や伝統に関する項目が選択される傾向にある。



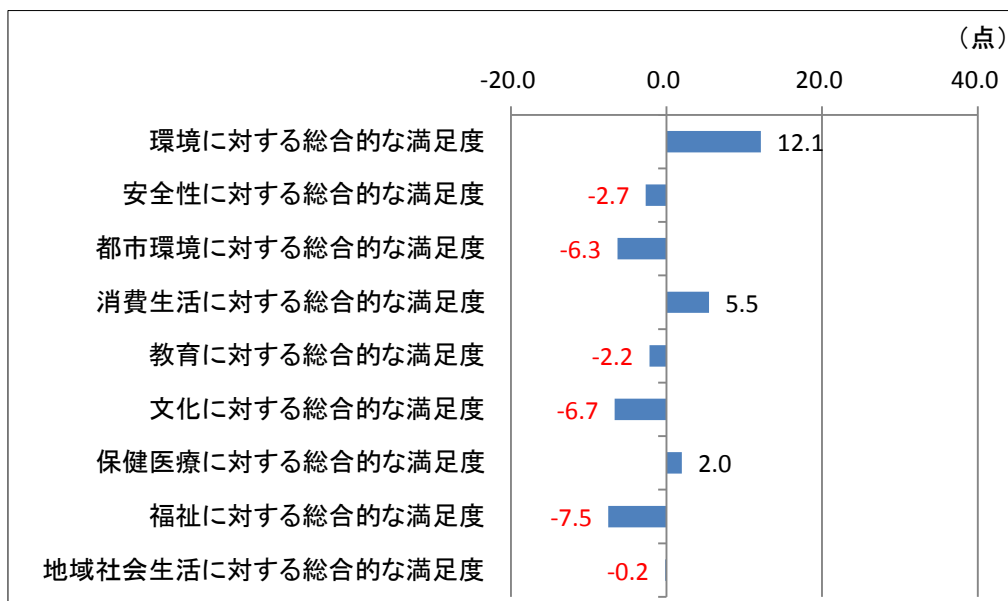
(n= 1,096)

問 18 今住んでいる地域の生活環境についてどの程度満足していますか。次の各項目について1(満足)から6(わからない)のうち、あてはまるものそれぞれ1つに○印をつけてください。

【総合的な満足度（得点換算）】

環境、安全性などの分野毎の総合的な満足度を見ると、プラス評価では「環境（12.1点）」が最も高く、次いで「消費生活（5.5点）」、「保健医療（2.0点）」となっている。一方、マイナス評価となった分野は9分野中6分野を占め、「福祉（-7.5点）」、「文化（-6.7点）」、「都市環境（-6.3点）」の評価が低い。

【得点化※】 総合的な満足度（-100点～100点に換算）



(n= 1,096)

※得点の算出方法

$$\text{得点} = \text{「満足（％）」} \times 1.0 + \text{「まあ満足（％）」} \times 0.5 + \text{「やや不満」} \times (-0.5) + \text{「不満（％）」} \times (-1.0)$$

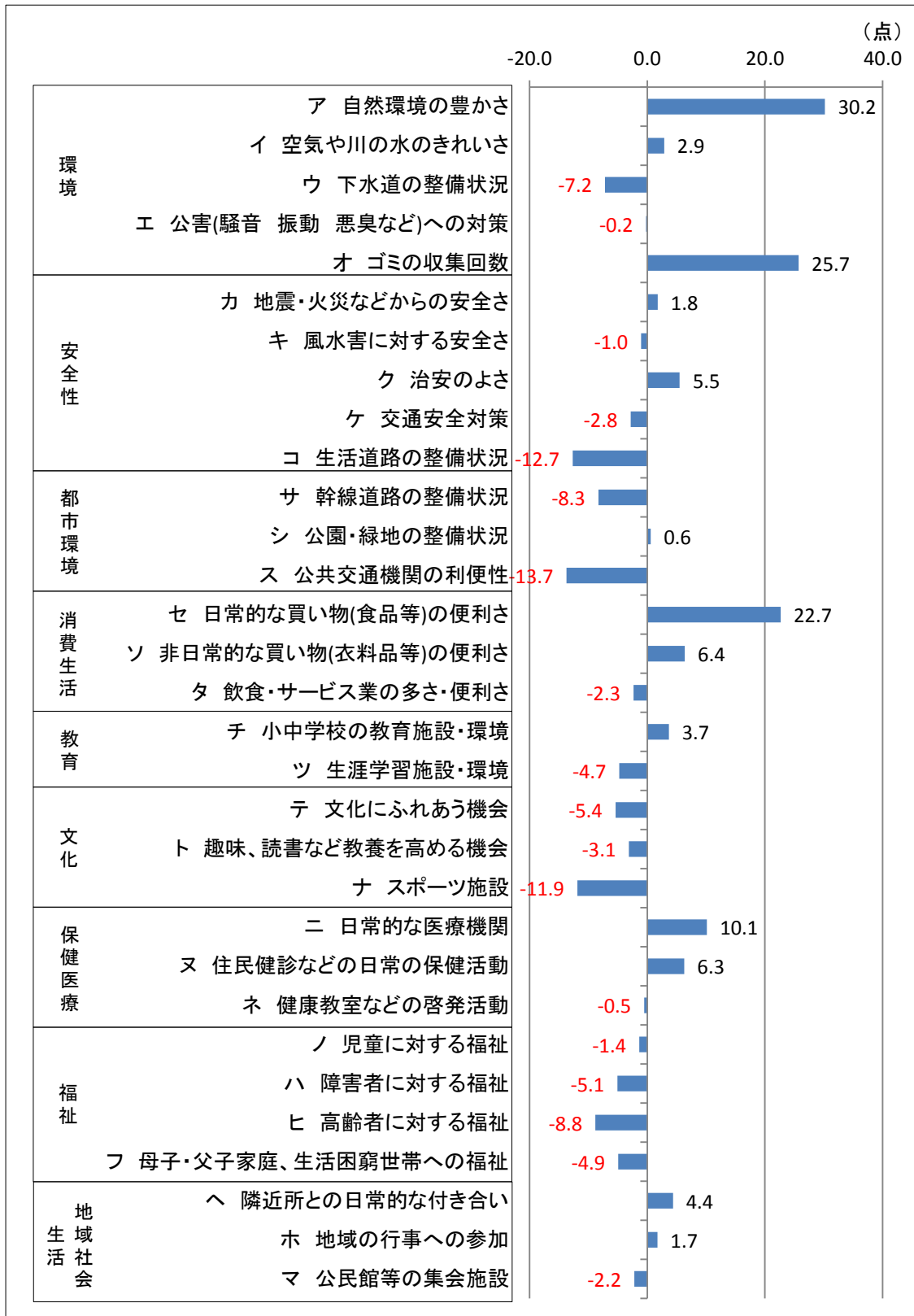
全ての回答者が、「満足」を選択すれば得点は100点、「不満」を選択すれば-100点となり、得点がプラスとなれば「満足」や「やや満足」という肯定的な評価の方が多くと見ることができる

【項目別の満足度（得点換算）】

個別の項目を見ると、得点が高い主な項目としては「ア 自然環境の豊かさ（30.2点）」、「オ ゴミの収集回数（25.7点）」、「セ 日常的な買い物(食品等)の便利さ（22.7点）」が挙げられる。しかし、プラスとなる項目は、全31項目中7項目と2割程しかなく、全般的に不満が多いことが読みとれる。

特に、得点の低い項目としては、「ス 公共交通機関の利便性（-13.7点）」、「コ 生活道路の整備状況（-12.7点）」、「ナ スポーツ施設（-11.9点）」が挙げられる。

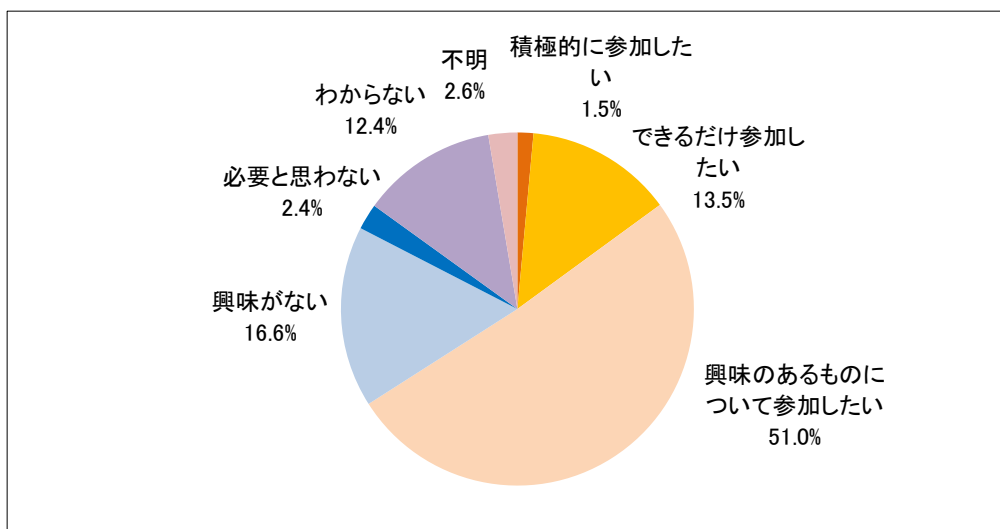
【得点化】各項目の満足度（-100点～100点に換算）



(n= 1,096)

問 19 市民参加のまちづくりについてどのようにお考えですか。(SA)

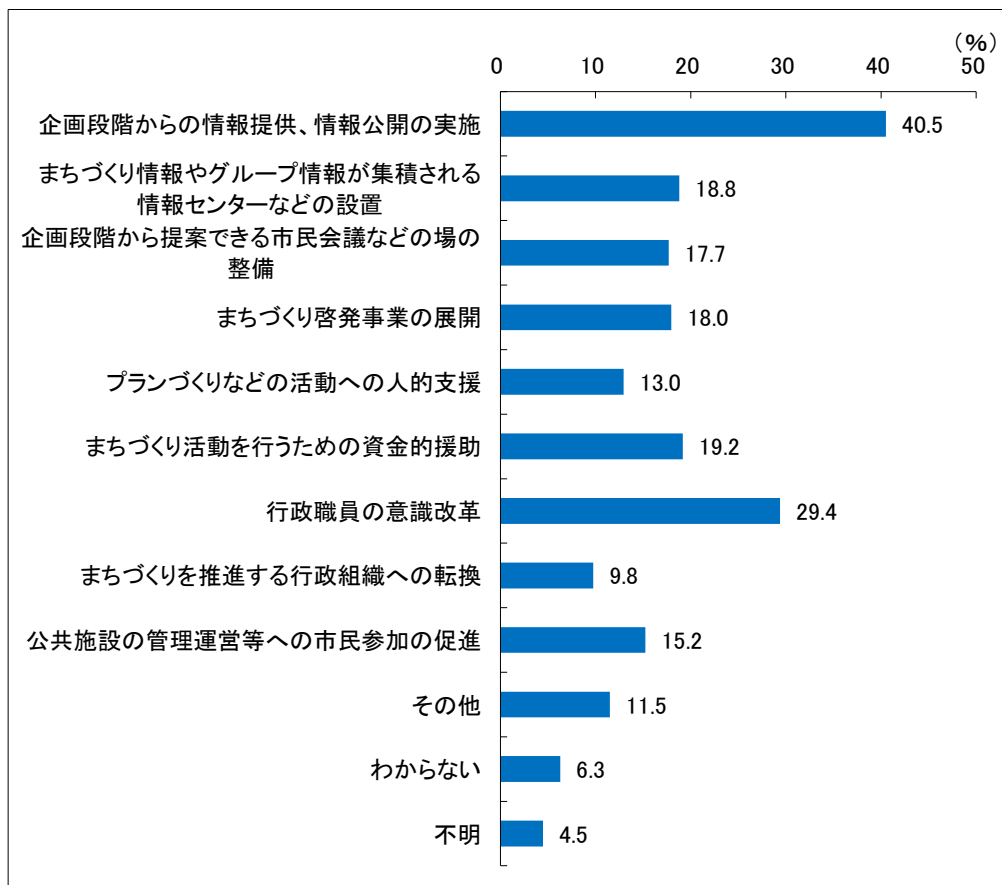
「積極的に参加したい (1.5%)」、「できるだけ参加したい (13.5%)」、「興味のあるものについて参加したい (51.0%)」といった、肯定的な回答の割合が 6 割を占める。また、肯定的な回答のうち「興味のあるものについて参加したい」との回答が最も多いことから、個人の志向に合った市民参画テーマの選定や、興味を引くようなプログラム構築などが求められている。



(n= 1,096)

問 20 まちづくりへの市民参加の促進を図っていくためには、行政はどんな取り組みをしていくべきとお考えですか。(MA：3つまで)

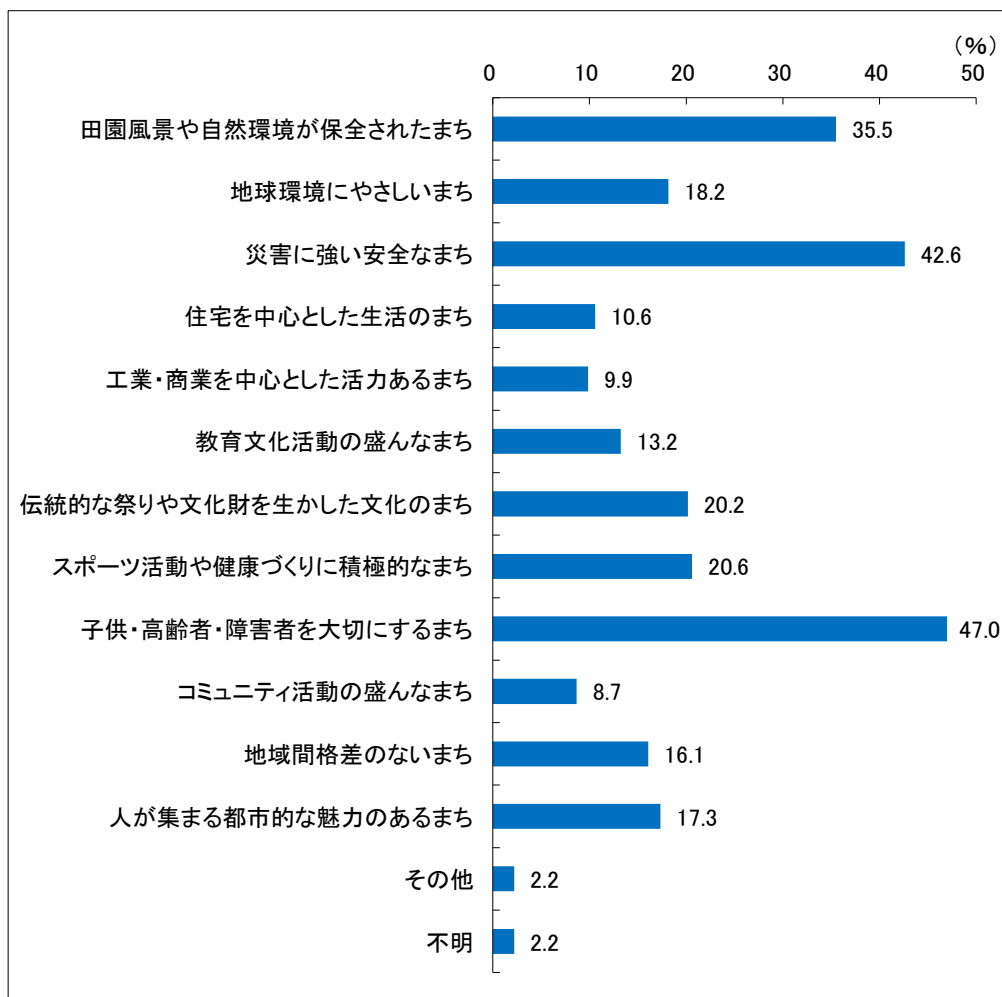
市民参画の促進に向けた取り組みとして、「企画段階からの情報提供、情報公開の実施（40.5%）」が最も高く、次いで「行政職員の意識改革（29.4%）」、「まちづくり活動を行うための資金的援助（19.2%）」、「まちづくり情報やグループ情報が集積される情報センターなどの設置（18.8%）」となっている。



(n= 1,096)

問 21 稲沢市が今後どのようなまちとして発展したらよいと思いますか。(MA：3つまで)

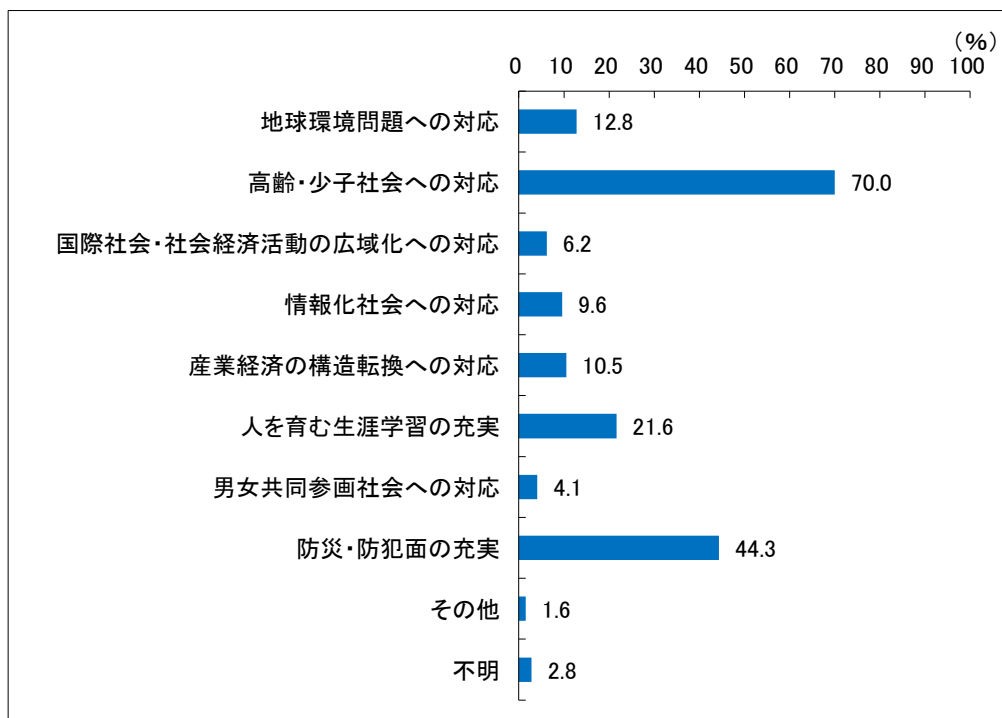
稲沢市が今後発展するための町の姿として、「子供・高齢者・障害者を大切にするまち（47.0%）」、「災害に強い安全なまち（42.6%）」、「田園風景や自然環境が保全されたまち（35.5%）」の3項目が、他の項目と比較して高い割合を占めており、福祉・災害・自然に配慮した発展が望まれている。



(n= 1,096)

問 22 将来の社会変革の中でも特に重要かつ優先的に稲沢市が対応すべきものは何であると思いますか。(MA：2つまで)

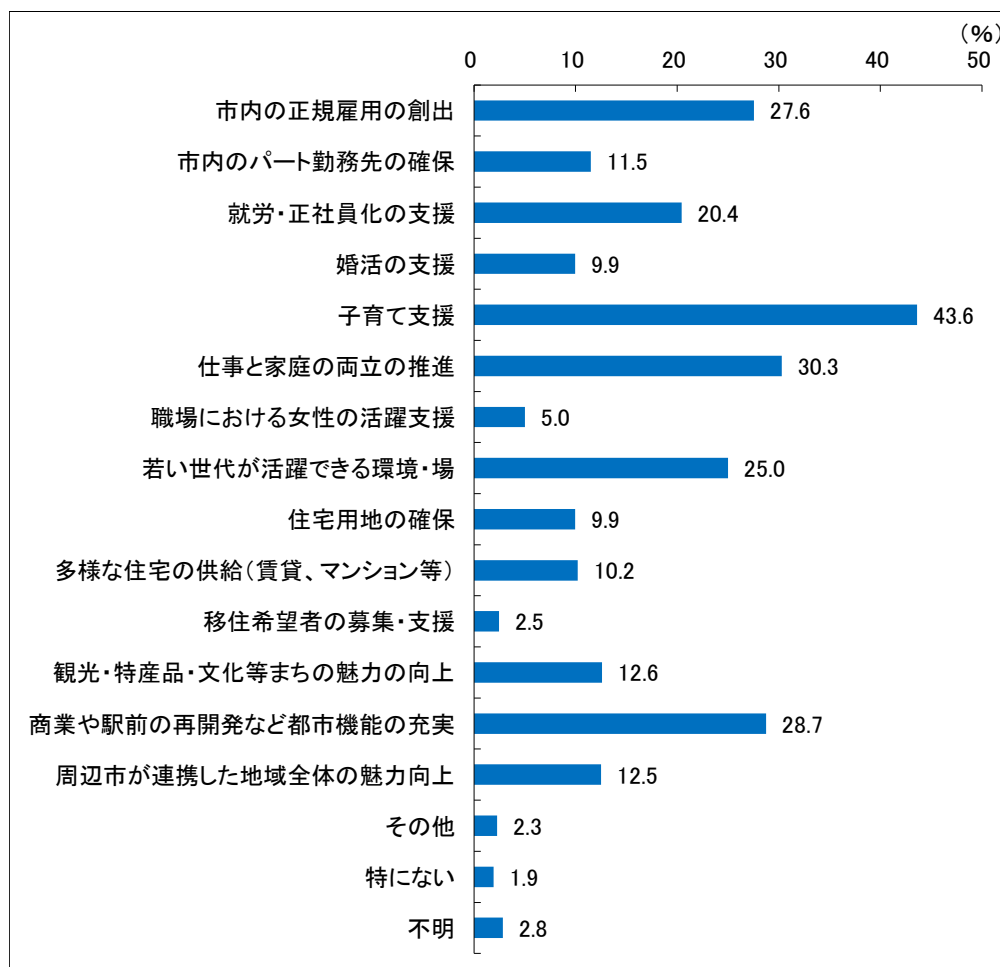
将来の社会変革の中で稲沢市が重要かつ優先的に対応すべきものとして「高齢・少子社会への対応(70.0%)」が突出して高く、次いで「防災・防犯面の充実(44.3%)」、「人を育む生涯学習の充実(21.6%)」となっている。



(n= 1,096)

問 23 若い世代にとって暮らしやすい稲沢市をつくるために、どのようなことを充実する必要があるとお考えですか。(MA：3つまで)

若い世代が暮らしやすくなるために充実すべきこととして、「子育て支援（43.6%）」が最も高く、次いで「仕事と家庭の両立の推進（30.3%）」、「商業や駅前の再開発など都市機能の充実（28.7%）」、「市内の正規雇用の創出（27.6%）」となっている。



(n= 1,096)

【クロス集計（年代別）】

年代別に「若い世代にとって暮らしやすい稲沢市をつくるために充実すべきこと」の回答結果を見ると、70歳以上を除く各世代で「子育て支援」の割合が最も高く、特に30～50歳代での割合が高くなっている。また、50歳代以下では「商業や駅前の再開発など都市機能の充実」の割合も高く、20歳代以下では最も高い割合を示している。なお、60歳代以上では、「市内の正規雇用の創出」、「若い世代が活躍出来る環境・場」の割合が高くなっており、当事者である若い世代と回答にギャップがある。

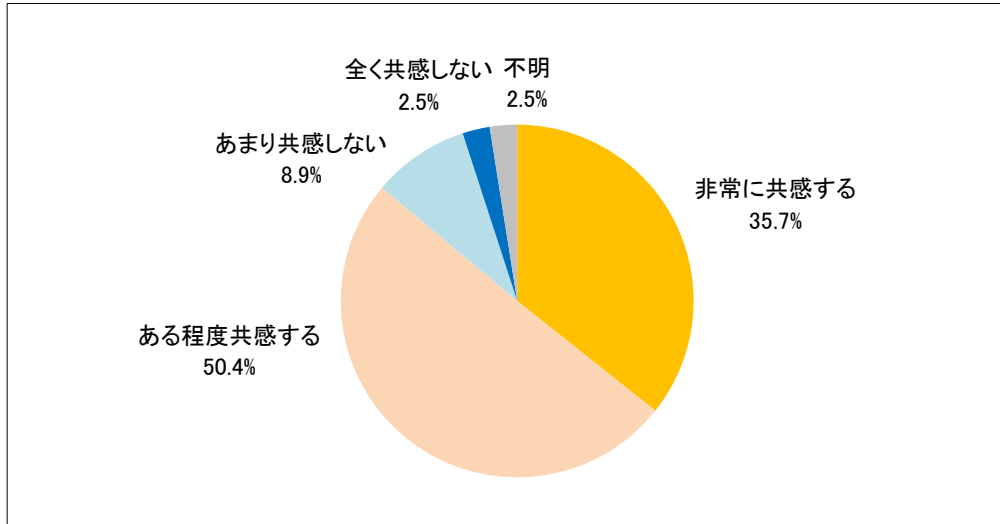
	回答者数	市内の正規雇用の創出	市内のパート勤務先の確保	就労・正社員化の支援	婚活の支援	子育て支援	仕事と家庭の両立の推進	職場における女性の活躍支援	若い世代が活躍できる環境・場	住宅用地の確保
全体	1094人	27.6%	11.5%	20.4%	9.9%	43.6%	30.3%	5.0%	25.0%	9.9%
20歳代以下	131人	21.4%	6.9%	22.1%	9.2%	39.7%	27.5%	7.6%	29.0%	6.1%
30歳代	173人	21.4%	13.3%	17.3%	4.6%	65.3%	41.6%	8.1%	13.3%	12.1%
40歳代	172人	26.7%	15.1%	16.9%	3.5%	50.0%	35.5%	4.1%	23.3%	11.6%
50歳代	170人	24.7%	11.8%	22.9%	12.9%	47.1%	26.5%	4.7%	22.4%	9.4%
60歳代	304人	33.2%	11.5%	21.4%	12.8%	38.5%	28.3%	3.6%	28.9%	9.9%
70歳以上	144人	32.6%	8.3%	22.2%	14.6%	20.1%	21.5%	3.5%	32.6%	9.7%

	多様な住宅の供給(賃貸、マンション等)	移住希望者の募集・支援	観光・特産品・文化等まちの魅力の向上	商業や駅前の再開発など都市機能の充実	周辺市が連携した地域全体の魅力向上	その他	特になし	不明
全体	10.2%	2.5%	12.6%	28.7%	12.5%	2.3%	1.9%	2.8%
20歳代以下	13.0%	1.5%	9.2%	40.5%	7.6%	4.6%	3.1%	1.5%
30歳代	12.7%	0.0%	11.6%	31.8%	11.0%	3.5%	0.6%	0.0%
40歳代	13.4%	2.3%	11.6%	32.6%	11.6%	2.3%	1.2%	1.2%
50歳代	11.8%	1.8%	12.4%	30.0%	12.4%	2.4%	1.2%	1.8%
60歳代	6.9%	3.0%	13.8%	24.3%	16.1%	1.0%	1.3%	2.3%
70歳以上	6.3%	6.3%	15.3%	18.1%	12.5%	1.4%	5.6%	11.8%

(n= 1,094)

問 24 「仕事と家庭の両立を図ることが、若い世代の子どもを産み育てやすい環境につながる」という考えについて、どのようにお考えですか。(SA) (結婚・出産・子育て：問 32)

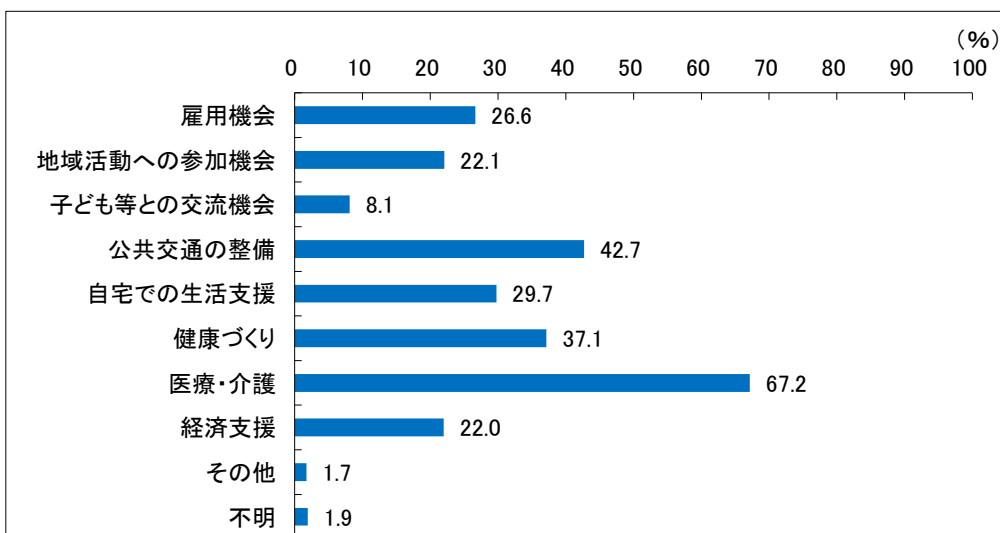
「非常に共感する (35.7%)」、「ある程度共感する (50.4%)」を合わせて 8 割超であり、「仕事と家庭の両立」が 出産・育児の環境改善に繋がると、稲沢市では認識されている傾向がうかがえる。



(n=1,359)

問 25 高齢世代にとって暮らしやすい稲沢市をつくるために、どのようなことを充実する必要があるとお考えですか。(MA：3つまで)

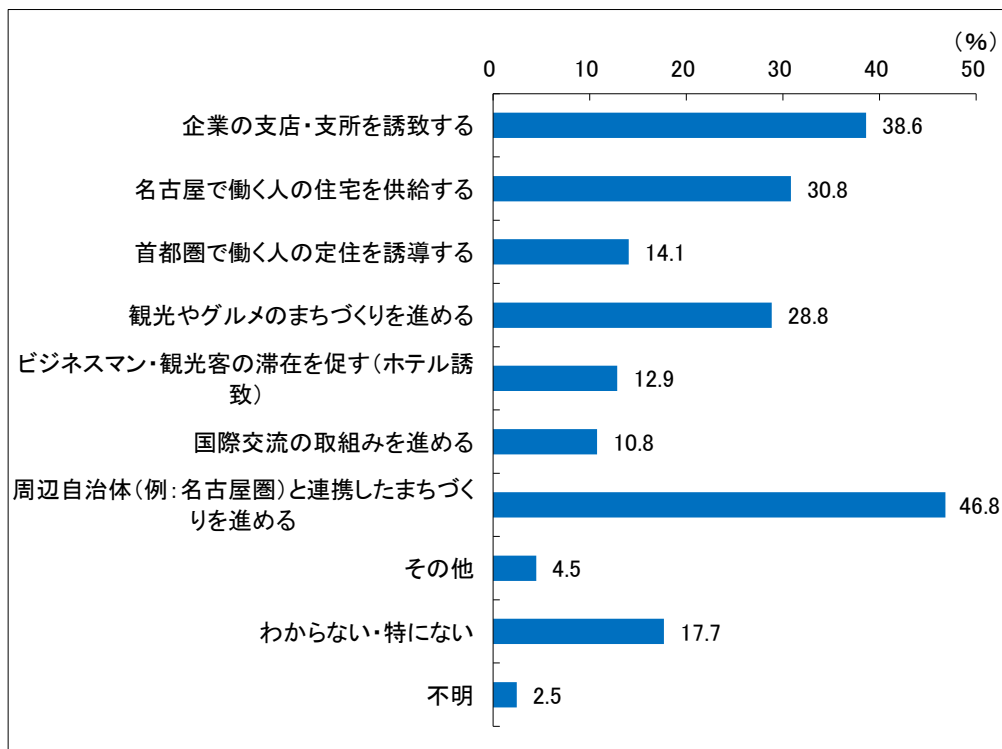
高齢世代が暮らしやすくなるために充実させるべき事項として、「医療・介護 (67.2%)」が最も高く、次いで「公共交通の整備 (42.7%)」、「健康づくり (37.1%)」となっている。



(n= 1,096)

問 26 今後、リニア中央新幹線の開通に向けて稲沢市では、どのような取り組みをすべきと思いますか。(MA：3つまで)

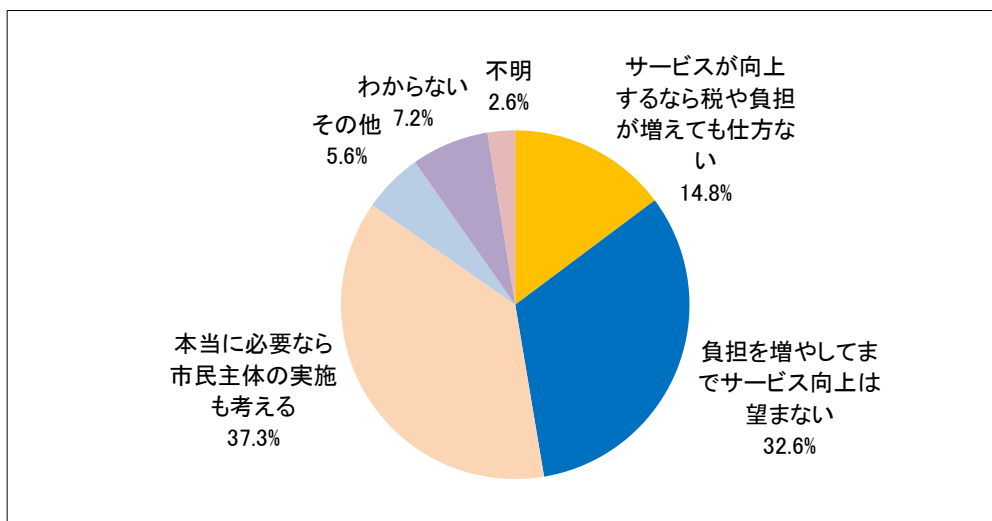
リニア中央新幹線の開通に向けた取り組みとして、「周辺自治体（例：名古屋圏）と連携したまちづくりを進める（46.8%）」が最も高く、次いで「企業の支店・支所を誘致する（38.6%）」、「名古屋で働く人の住宅を供給する（30.8%）」、「観光やグルメのまちづくりを進める（28.8%）」となっている。



(n= 1,096)

問 27 新たな施設の整備や市民福祉の向上を図るためには、市民の負担が増える可能性もありますが、これについてあなたはどうお考えですか。(SA)

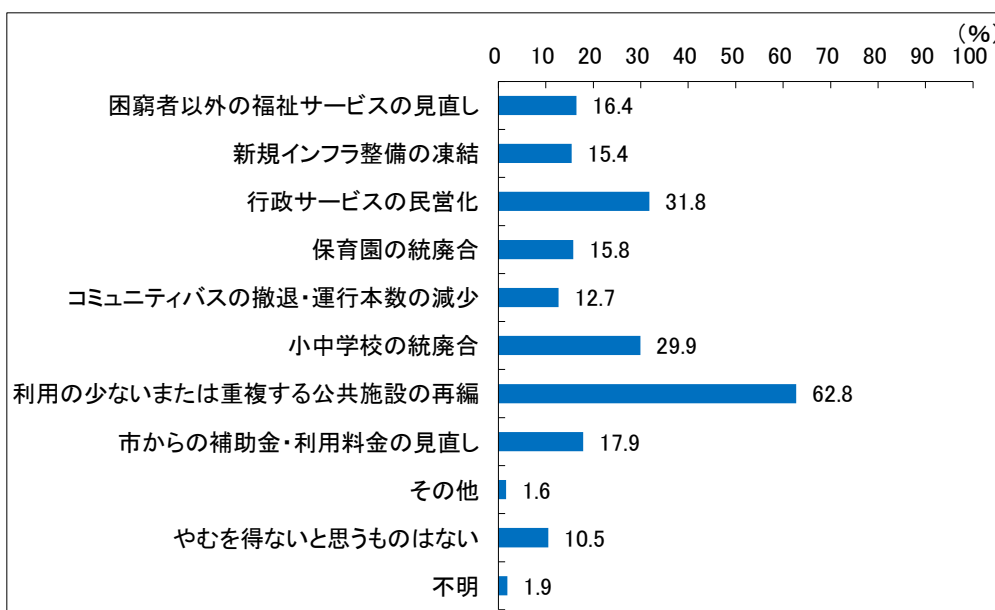
市民負担の増加に対する考え方として、「本当に必要な市民主体の実施も考える (37.3%)」、「サービスが向上するなら税や負担が増えても仕方ない (14.8%)」を合わせて 52.1%と、何らかの費用負担を受け入れる回答が半数を占める。一方、「負担を増やしてまでサービス向上は望まない (32.6%)」も 3割超を占める。



(n= 1,096)

問 28 将来、変化があっても、やむを得ないと思うものは何ですか。(MA : 3つまで)

やむを得ない変化としては「利用の少ないまたは重複する公共施設の再編 (62.8%)」が最も高く、突出している。次いで「行政サービスの民営化 (31.8%)」、「小中学校の統廃合 (29.9%)」となっている。



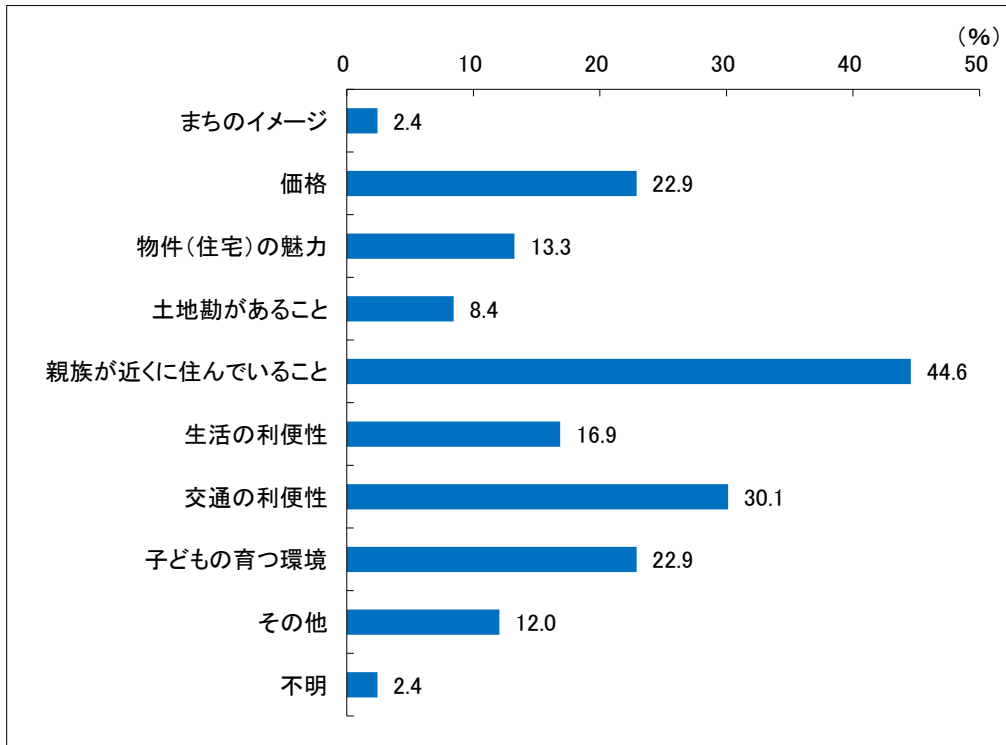
(n= 1,096)

結婚・出産・子育てに関するアンケート調査結果

問 15 住宅を保有する際に何が決め手となりましたか。(2つまでに○印)

(問 10「あなたの現在の住まいについて選んでください」で「5 自分・配偶者名義の持ち家(戸建て)」、「6 自分・配偶者名義の持ち家(マンション)」を選択した方のみ回答してください。)

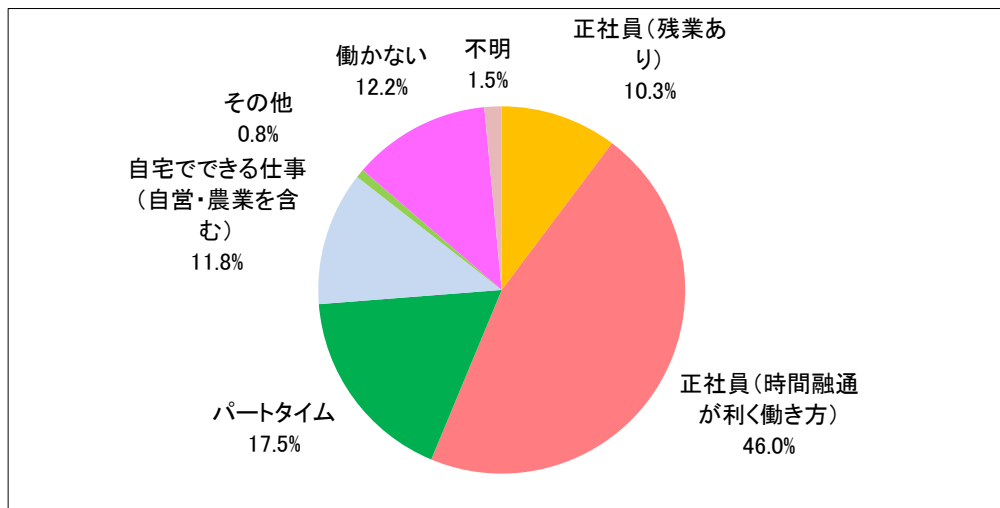
住宅保有の決め手として、「親族が近くに住んでいること(44.6%)」が最も高く、次いで「交通の利便性(30.1%)」、「子供の育つ環境(22.9%)」、「価格(22.9%)」となっている。



(n=83)

問 33 あなたに未就学児等、手がかかる子どもがいたとしたら、どのような働き方をしたいと思いますか。(1つに○印)

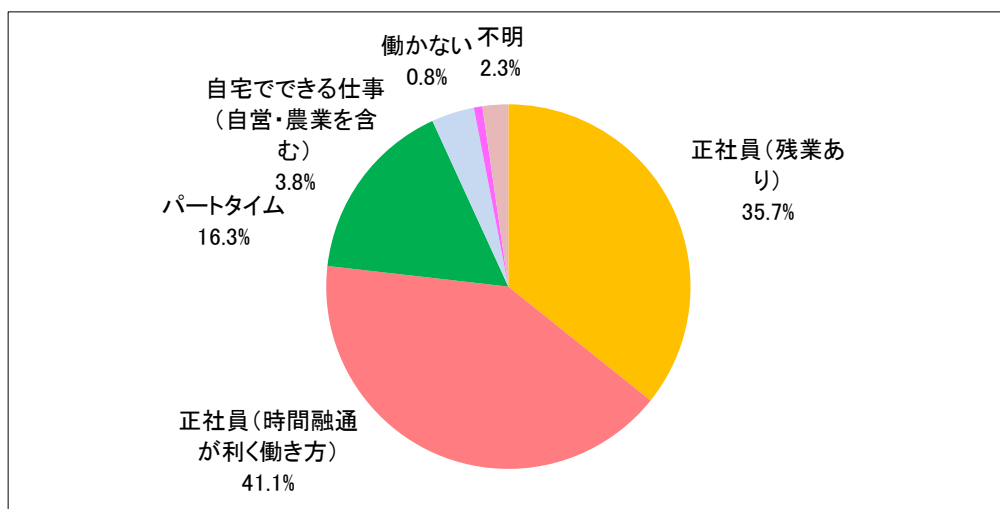
「正社員（時間融通が利く働き方）（46.0%）」が最も多く、「正社員（残業あり）（10.3%）」を合わせると、正社員は約 6 割を占め、正社員として働き続けたい意向を大半の回答者が有していることがうかがえる。なお、正社員以外では「パートタイム（17.5%）」が最も高く、次いで「自宅でできる仕事（自営・農業を含む）（11.8%）」となっている。一方、「働かない（12.2%）」も 1 割超を占める。



(n=263)

問 34 あなたに中学生以上等、ある程度親の手を離れた子どもがいたとしたら、どのような働き方をしたいと思いますか。(1つに○印)

正社員が約 8 割を占め、うち「正社員（残業あり）（35.7%）」が 3 割超と、手がかかる子どもがいる場合に比べて時間制約が少ないことから、仕事を重視する傾向が強くなっている。なお、正社員以外の働き方では「パートタイム（16.3%）」が最も高い。



(n=263)

稲沢市へのターンに関するアンケート調査結果(ネットリサーチ)

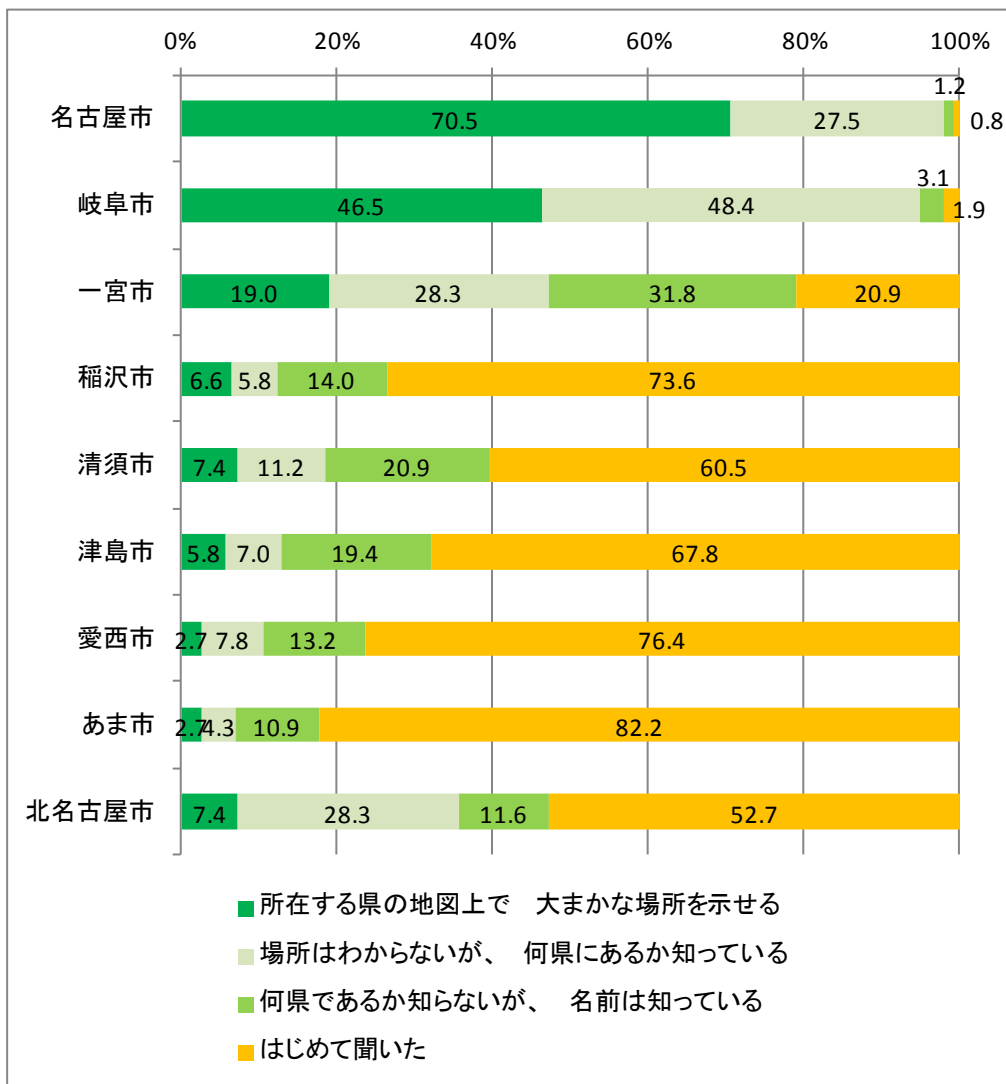
問6 次の都市について知っていますか。(SA)

回答のうち「はじめて聞いた」を除いた稲沢市の認知度は、首都圏で26.4%であり、名古屋圏の98.4%を大きく下回る。特に、愛知県にあることを知っている割合は12.4%に過ぎない。

首都圏における認知度を周辺市町村と比較すると、稲沢市は平成の市町村合併により新市名で誕生した愛西市(23.7%)やあま市(17.9%)を上回るものの、清須市(39.5%)や北名古屋市(47.3%)を下回り、下位に位置する。

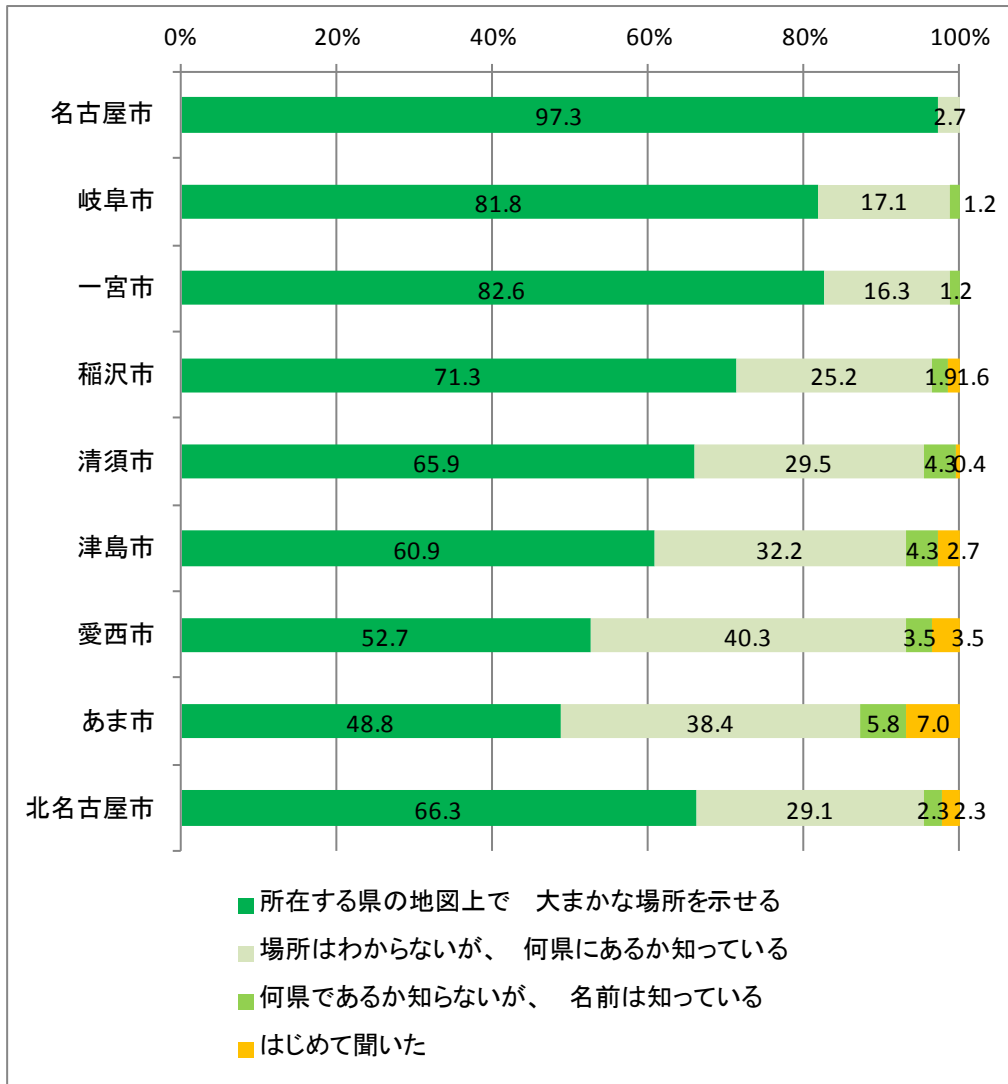
一方、名古屋圏では、「所在する県の地図上で 大まかな場所を示せる」とした割合が71.3%となり、中核的な都市である岐阜市や一宮市に匹敵する水準にあり、地元での認知度は高いと言える。

【首都圏】



(n=258)

【名古屋圏】



(n=258)

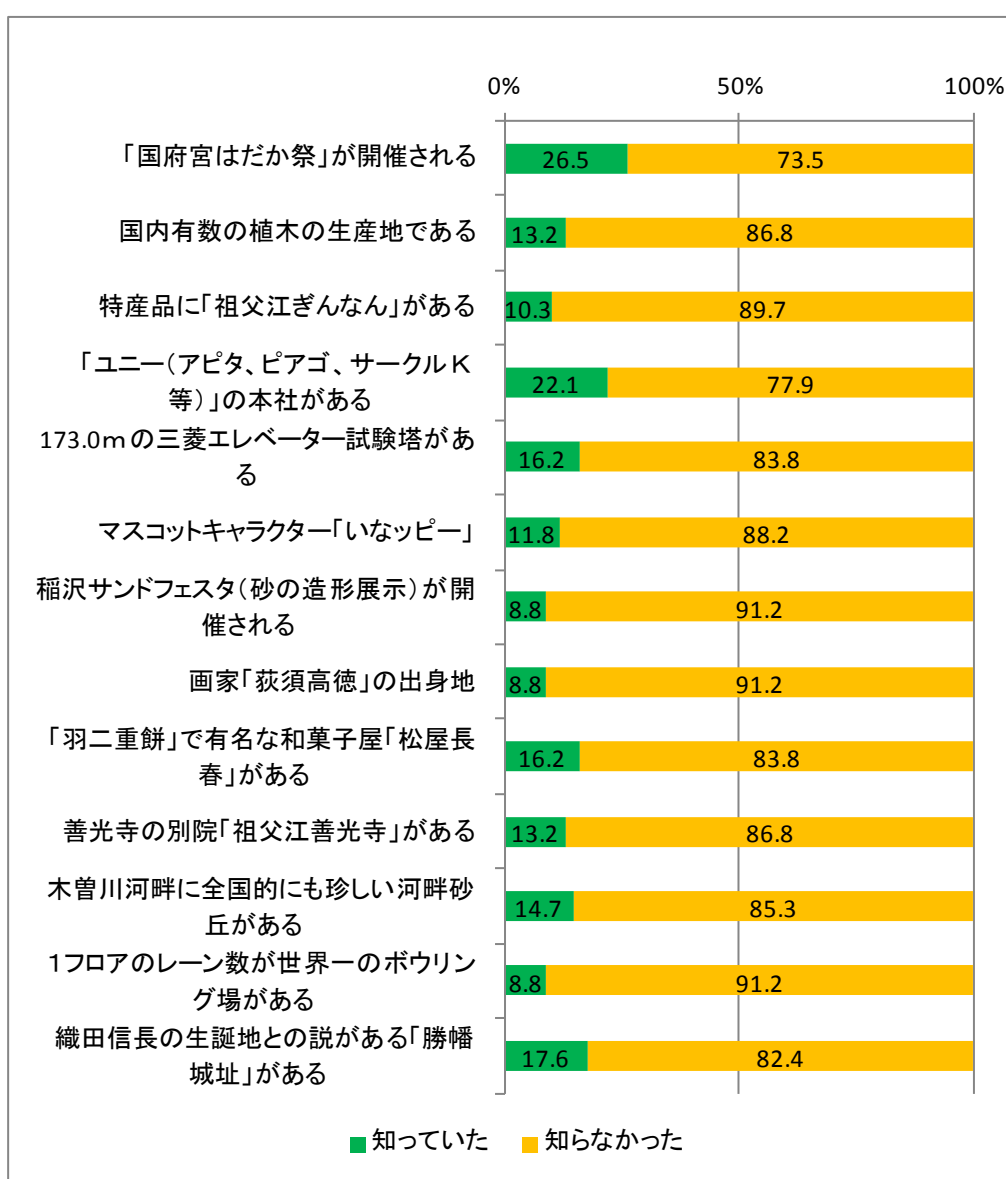
問7 稲沢市について知っているもの、知らないものを選んでください。(SA)

(回答者限定設問：問6で「はじめて聞いた」人を除く。)

首都圏では、「『国府宮はだか祭』が開催される (26.5%)」が最も高く、次いで「『ユニー (アピタ、ピアゴ、サークルK等)』の本社がある (22.1%)」となるが、いずれも 20%台であり、認知度の高い地域資源は見られない。

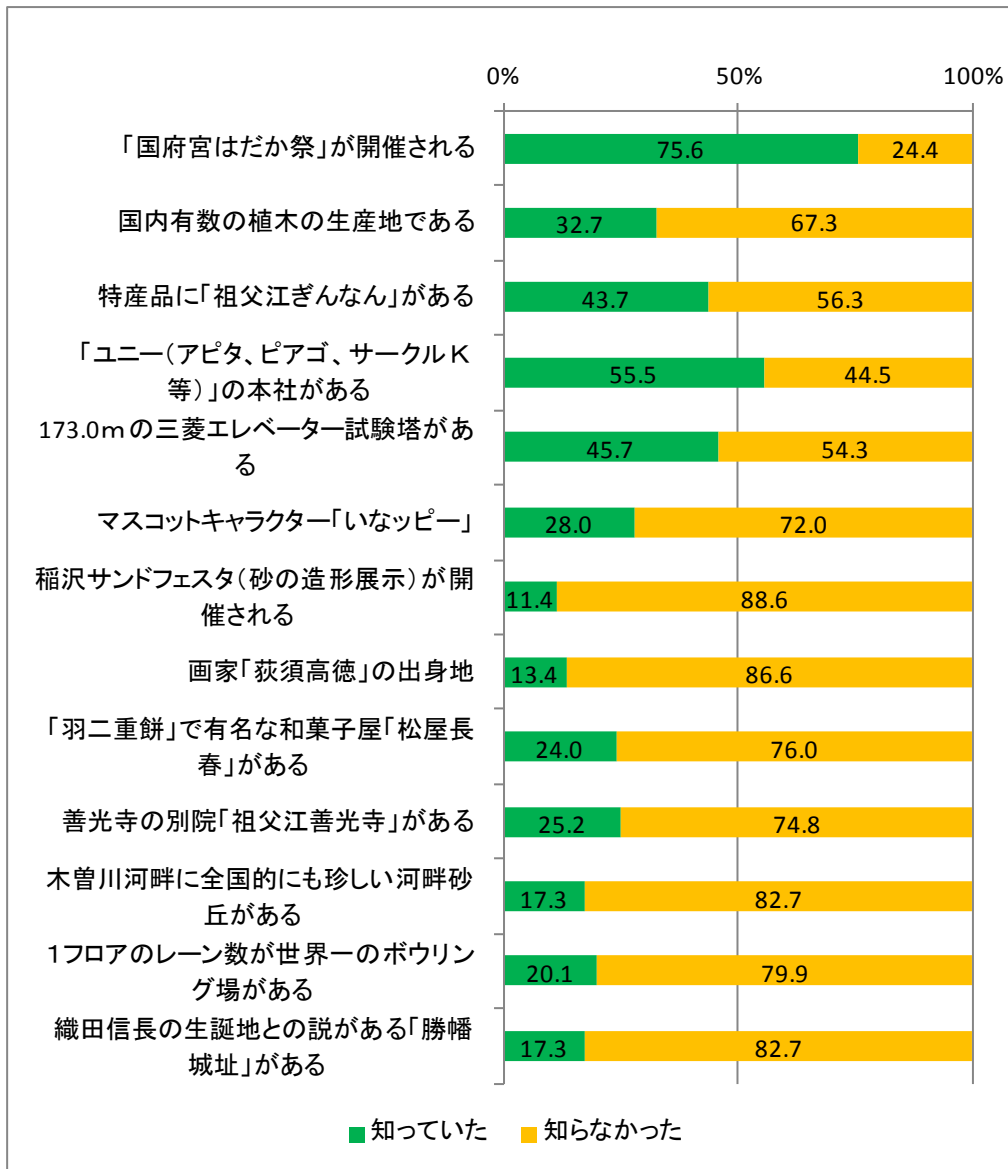
名古屋圏では、首都圏と同様に「『国府宮はだか祭』が開催される」が最も高く、その割合も 75.6% で突出している。また、「『ユニー (アピタ、ピアゴ、サークルK等)』の本社がある (55.5%)」も 5 割を超える。この他、「173.0mの三菱エレベーター試験塔がある (45.7%)」や「特産品に『祖父江ぎんなん』がある (43.7%)」が 4 割を超えており、産業に関連する資源の認知度が高い。

首都圏



(n=258)

名古屋圏

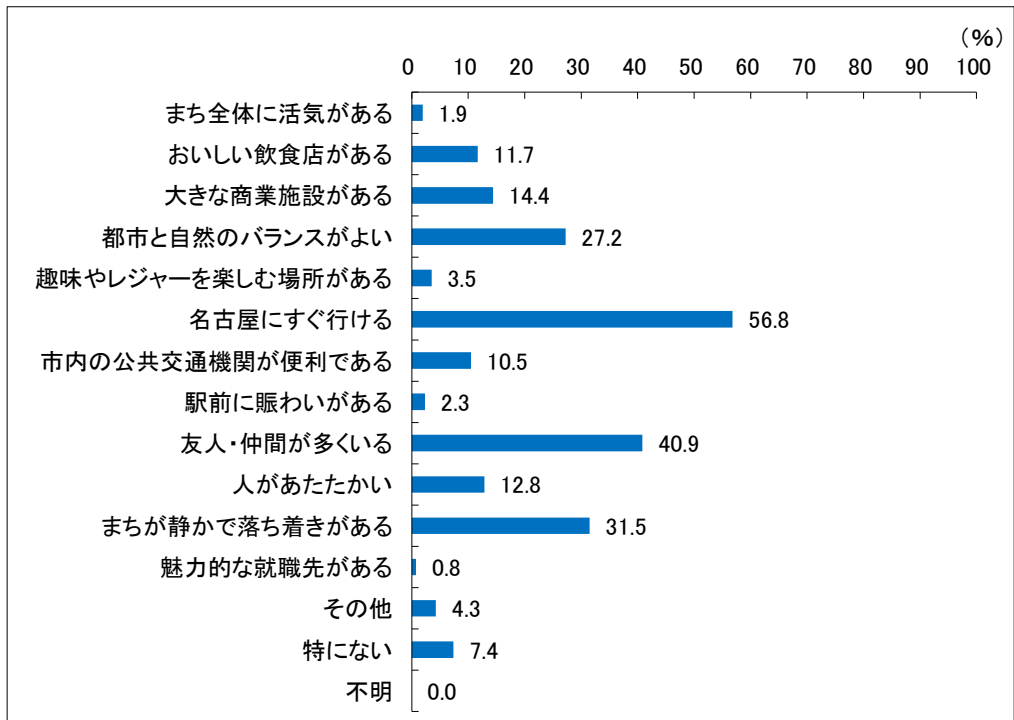


(n=258)

若者の進路選択等に関するアンケート調査結果

問3 稲沢市に住むにあたり、良いと思うところは何ですか。(3つまでに○印)

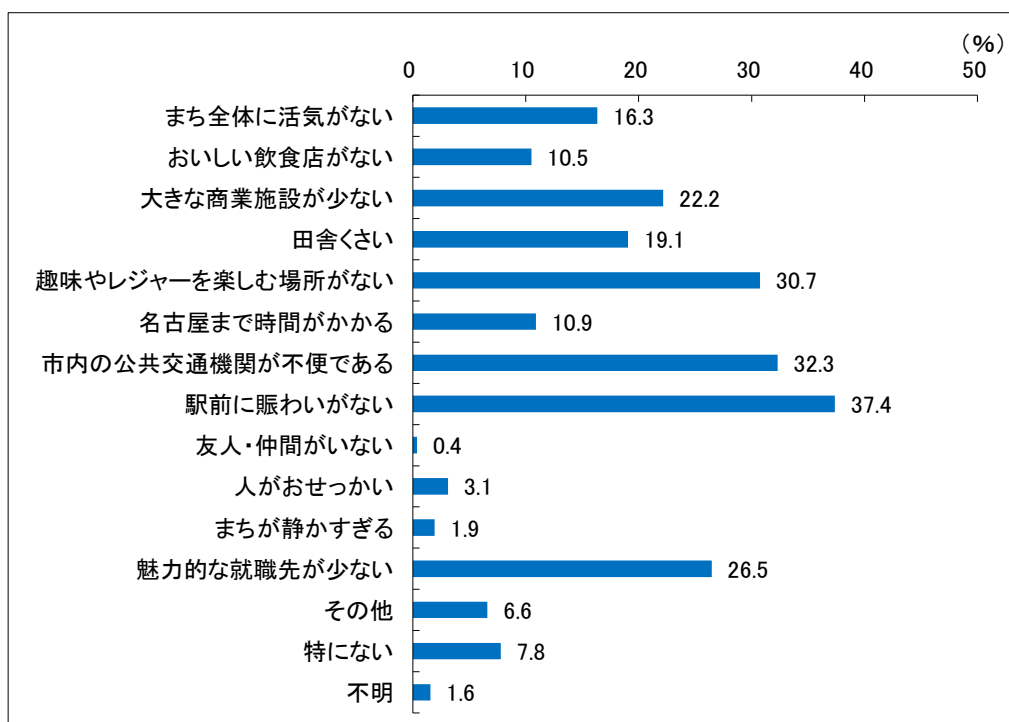
「名古屋にすぐ行ける (56.8%)」が 5 割超と最も高く、次いで「友人・仲間が多くいる (40.9%)」となっている。また、「まちが静かで落ち着きがある (31.5%)」、「都市と自然のバランスが良い (27.2%)」といった、穏やかさ・癒やしに通じる項目の割合も約 3 割と高い。



(n=257)

問4 稲沢市に住むにあたり、悪いと思うところは何ですか。(3つまでに○印)

「駅前に賑わいがいい(37.4%)」が最も高く、「市内の公共交通機関が不便である(32.3%)」、「趣味やレジャーを楽しむ場所がない(30.7%)」、「大きな商業施設が少ない(22.2%)」の割合も高いことから、魅力的な都市拠点の不足や公共交通網に対する不満が大きいことがうかがえる。また、「魅力的な就職先が少ない(26.5%)」にも一定の回答が集まっている。

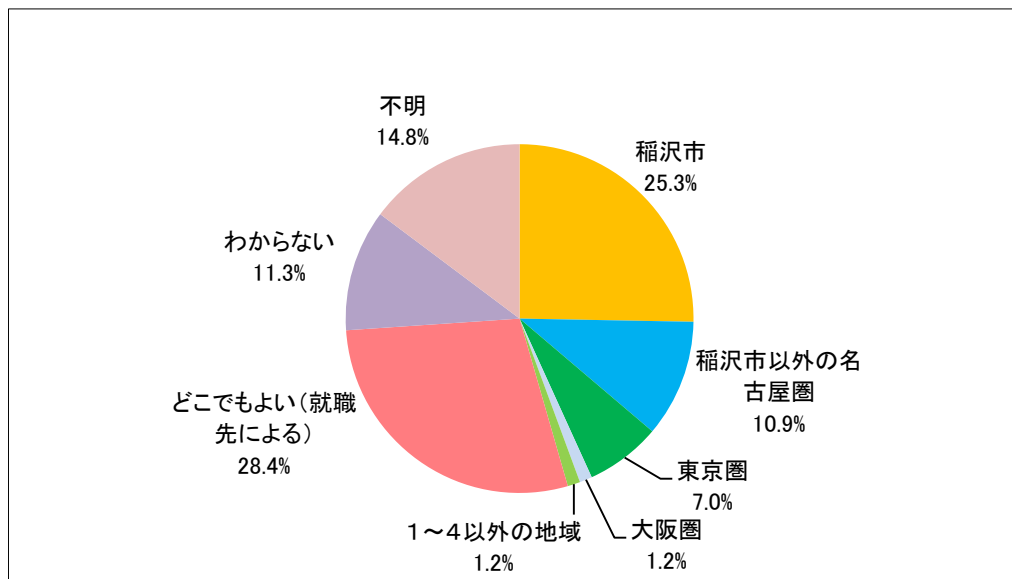


(n=257)

問7 あなたは就職するときにどこで暮らしたいと思いますか。(1つに○印)

既に社会人の方は、現在の居住地(1 稲沢市)に○印をつけてください。

就職時の居住地については、「どこでもよい(就職先による)(28.4%)」が最も高く、次いで「稲沢市(25.3%)」、「稲沢市以外の名古屋圏(10.9%)」となっており、進学時の自宅居住へのこだわりが就職時には低くなる傾向がみられる。

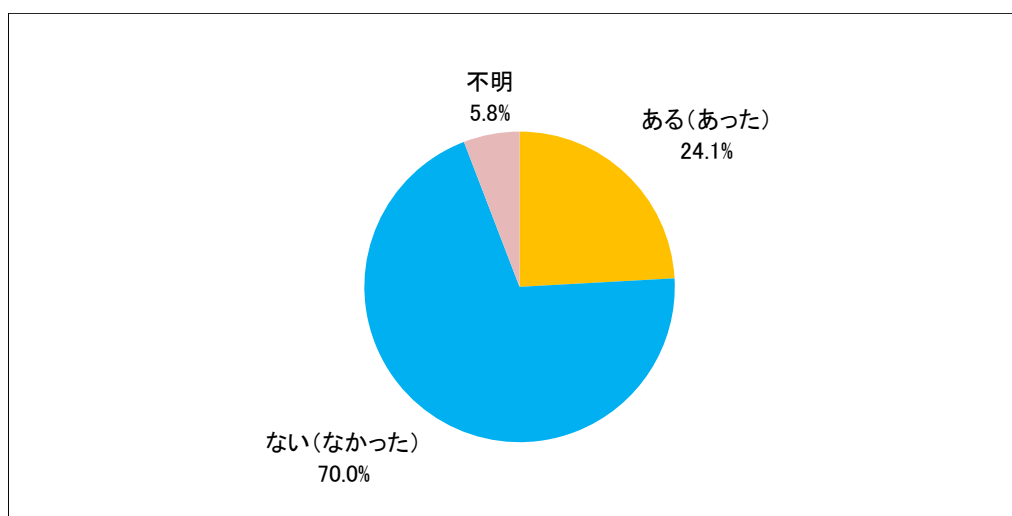


(n=257)

問14 あなたは稲沢市やその近くに働いてもよいと思う企業等がありますか。(1つに○印)

既に社会人の方は、就職活動中に市内・周辺に働きたい企業があったかを回答してください。

稲沢市内・稲沢市周辺に働いてもよい企業が、「ない(なかった)(70.0%)」が7割を占めている。

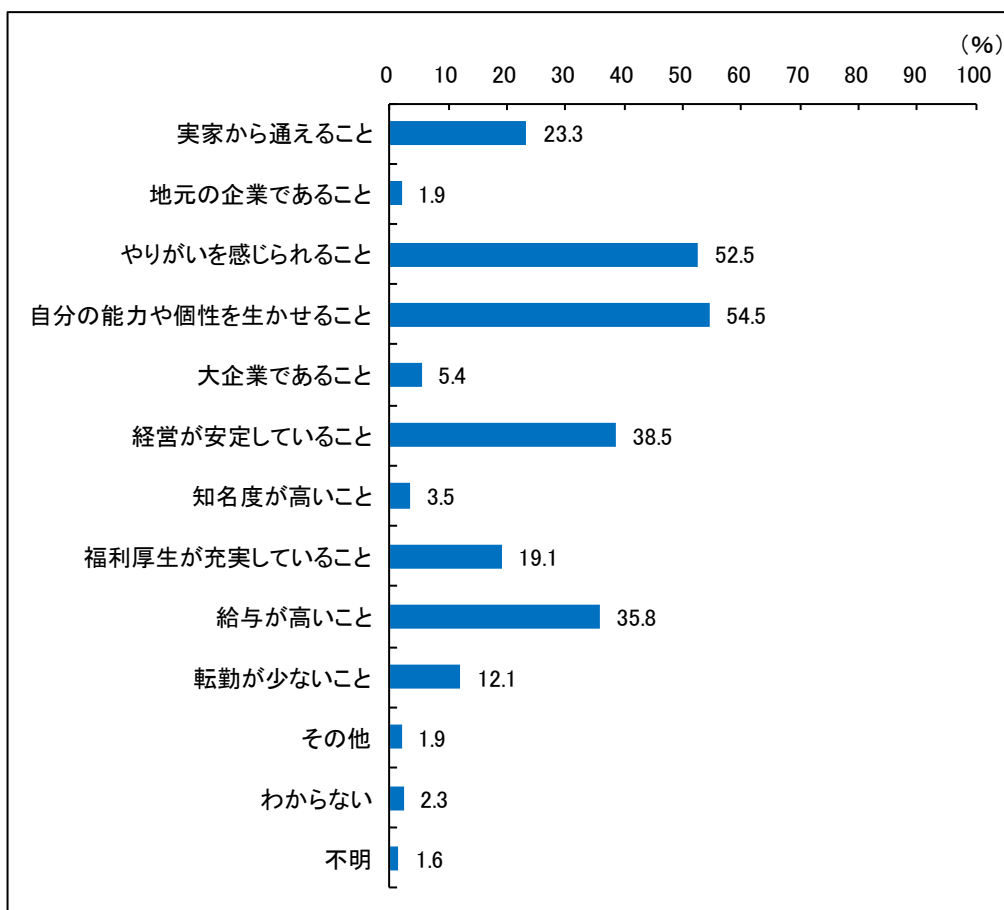


(n=257)

問 15 あなたは就職活動を行う際に何を重視しますか。(3つまでに○印)

既に社会人の方は、就職活動中に重視したことを回答してください。

就職で重視することとして、「自分の能力や個性を生かせること (54.5%)」、「やりがいを感じられること (52.5%)」といった、仕事との相性に関する項目が5割超を占める。次いで「経営が安定していること (38.5%)」、「給与が高いこと (35.8%)」といった、安定性に関する項目が選択されている。



(n=257)

地区ワークショップ

次期総合計画の策定に向け、まちづくりの方向性を市民と共に考えるため、市民参加型のワークショップを2日間に分けて実施した。公募に加え、無作為抽出を通じて参加者を募集することで、市政への関与機会があまりなかった市民による参加も多く見られた。参加者からは、今後の市民参加に対する前向きな声が聞かれた。

開催日時・プログラム概要

【1日目】平成27年10月 3日(土) 13:00~17:00 (勤労福祉会館 第2・3研修室)

■テーマ:地区別でのまちづくりの方向を考えよう!

セッション① 地区別でのまちの魅力は?課題は?

セッション② 地区別で取り組むべきこと。地区別まちづくりのキャッチコピーを考えよう!

【2日目】平成27年10月17日(土) 13:00~17:00 (勤労福祉会館 第2・3研修室)

■テーマ:テーマ別でのまちづくりの方向を考えよう!

セッション① テーマ別でのまちの魅力は?課題は?

セッション② テーマ別で取り組むべきこと。稲沢市のキャッチコピーを考えよう!

募集方法・参加者数

【参加者の募集方法】

・無作為抽出した市民への依頼(下記のアンケート調査対象者へ、案内状・参加申込書を同時送付)。

結婚・出産・子育てに関するアンケート調査 (本市にお住まいの16~39歳の若年者 1,000人)

将来のまちづくりに関するアンケート調査 (本市にお住まいの16歳以上の方 3,000人)

若者の進路選択等に関するアンケート調査 (本市にお住まいの高校2年生、大学2年生の学齢者 1,300人)

・市広報を通じた公募

【参加者数】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
第1日目	2人	6人	5人	2人	5人	16人	36人
第2日目	2人	7人	4人	2人	4人	15人	34人

当日風景



■実施結果

地区別ワークショップ①「地区別でのまちづくりの方向を考えよう！」

地区名	稲沢	小正	下津
魅力	・歴史的文化財がある ・交通の便がよく、若者が集まる街である	・稲沢の玄関口 ・人口が多く、生活に便利 ・農工業が盛ん	・JRが近く、買い物が便利 ・地域力がある
課題	・資源を活かしきれていない ・集客施設が少ない	・特に東西方向の交通の便 ・知らない人同士が多い、防犯面	・犯罪が多い ・交通事故が多い
キャッチコピー	若者が集う、歴史豊かな遊べるベッドタウン	こしょばゆい近さピリッとゆずる小正の心	新(進)化し続ける魅力ある下津
取り組み	○学業施設周辺の集客施設の増設 ○若者による空き店舗の利用	○仲間づくり(住民活動)への行政の支援・助成・居場所 ○JRへの快速停車、名鉄への踏み切り時短働きかけ	○住民の各行事(盆おどり等)の積極的参加 ○喫茶店の活用(たまり場) ○休耕田の活用(コスモス・ヒマワリ・レンゲ等)
地区名	明治	千代田	大里西
魅力	・アピタ ・矢合国分寺、お寺	・緑が多く静か！ ・子供にもお年寄りにも優しい町！！	・地区唯一のキャラクターあり！ ・稲沢の玄関
課題	・交通の便が少ない ・遊ぶ所が少ない	・アクセスが悪い ・道路がわるい	・商店が少ない ・昔とあまり変わらない
キャッチコピー	実は良いスポットあるんですヨ！	農業と工業のタッグ町(マッチ)、スポーツ、芸能の豊かな地区にしよう！！	世界のお客様をお迎えいたします
取り組み	○地域の人々との連携 ○自然との共存	○道路の拡張と充実！！ ○みんなが集まれる場所を作る！！	○観光客と事業者用の173mの高層ビル ○キレイな川とおいしい魚の食べられるまち
地区名	大里東	祖父江	平和
魅力	・交通の便が良い ・買い物に便利	・豊かな自然 ・伝統あるお祭り	・桜がきれい、多い ・閑静な住環境
課題	・車が無いと不便 ・休耕地が多い(自然の良さに反し、草がぼうぼう)	・交通が不便 ・施設の充実	・病院がない ・交通が不便
キャッチコピー	お年寄りも安心して楽しくすごせる町	自然の里 リバーサイド祖父江	桜色に染まる平和なまち
取り組み	○年寄りのこと、将来ある若者を大切に	○積極的な住民参加による地域活性化(サリオパークのNP運営) ○魅力ある道の駅・川の駅を祖父江に！(ギンナンサリオパーク)	○健康になれるまちづくり(例：田畑で働く、遊歩道で散歩、らくプラの有効活用)

地区別ワークショップ②「テーマ別でのまちづくりの方向を考えよう！」

テーマ	娯楽・生涯学習	観光・文化
魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りが多い ・世界一のボーリング場がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史のある建造物 ・年間を通してお祭りが多い ・楽しめる施設が多い
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・足の便が悪い ・駐車場がせまい ・シャトルバスがない ・情報が取りづらい(広報に載らない習い事が多い・友達の紹介がメイン) 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの魅力のPR不足 ・市外の集客・宿泊が弱い
キャッチコピー	楽しく笑って生きていくために人生は娯楽から！	一度は来ていただきたい稲沢
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○紙ベースの情報発信(回覧板、市民センターで閲覧) ○先生を探してマッチングする仕組み作り ○働く人が利用しやすい夜間、休日の施設 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民・企業の参加と連携 ○PR・情報発信(インターネット&紙&拠点) ○まちあるき、フォトコンテスト等のイベント企画
テーマ	コミュニティ・市民活動	インフラ
魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・地域独自の町づくり活動が活発 ・地域(コミュニティ)を支えるお祭り文化(①矢合観音②国分寺マルシェ) ・世界に誇れるお花文化(①お抹茶文化②喫茶店文化) 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部、高速道路へのアクセスのよさ ・大小の公園が充実している ・地価、家賃が安い
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動全体をまとめる横のつながりが少ない ・地域の活動団体(NPO)の情報が不足 ・活動の施設が古い(リニューアルが必要、利用規則が厳しすぎる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の東西交通の悪さ ・調整区域の多さ
キャッチコピー	老いも若きもまず行動(声かけ)魅力発信 いなっピー！	稲沢市人口増加作戦!!
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○情報の受発信を活発に(広報の動画発信…市民派ボランティアで) ○地域の魅力発信隊！(組織づくり) ○活動主体の創造(①子どもたちが参加する活動②大人のツアー企画) 	<ul style="list-style-type: none"> ○市長を交えた意見交換会 ○JR・名鉄との意見交換会 ○駅前商店街地権者との意見交換会
テーマ	高齢者・介護	子育て・孫育て
魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・隣・近所との連携 ・高齢者対応の環境・施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で子育て、孫育てが出来る ・社会資源はあるので、上手に活用できれば暮らしやすい
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が自立できる環境 ・高齢者⇄若い世代(教育⇄刺激) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報が少ない(ツールが少なく、手段も弱い) ・働く親が安心して子育て出来る環境が少ない
キャッチコピー	いくつになっても青春を、自立—自分で立って歩く ウォーキングシティ稲沢	人と自然～子育て・孫育て
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ウォーキング(稲沢シティマラソン開催に合わせたシティウォーキング併催、コースに市民病院、お寺を設定、稲沢八十八か所めぐり) ○寄り合いの場所設定(お寺、畑、公民館等高齢者の集う場所を提供) ○隣近所の声かけ(近所と畑での作業を基にした物々交換) 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者に端末を使う機会を作る(貸出しなど) ○ラインのイナッピースタンプを無料にして、フォローを増やす！いなっピーの名刺(QRコード付きでイチポチ、検索ワードを増やして上位に市役所が出てれば情報が取りやすい) ○市民病院で病児保育をして欲しい

市民インタビュー

「第6次稲沢市総合計画」の策定にあたり、市民参画の一環として、市民インタビューを実施した。市民意識調査やまちづくりワークショップで一般市民の意識はある程度収集可能であるため、インタビュー対象は主に企業や各種団体、市民活動団体等とした。

対象カテゴリー	団体名
■不動産事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社TSON ・大里ホーム ・名古屋鉄道株式会社 不動産事業本部
■市内企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニーグループ・ホールディングス株式会社 ・株式会社明治 愛知工場 ・株式会社 AIKI リオテック
■商工会議所・商工会	<ul style="list-style-type: none"> ・稲沢商工会議所 ・祖父江町商工会 ・平和町商工会 ・稲沢金融懇話会（市内金融機関の各店舗）
■農業関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・JA 愛知西
■市民活動団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ZAWA 友 FESTA ・Longhill Net ・稲沢ロックフェス
■子育て支援機関	<ul style="list-style-type: none"> ・ママサポートぴよぴよ
■大学・短大・高校	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋文理大学 ・愛知文教女子短期大学 ・愛知啓成高等学校 ・愛知県立稲沢高等学校
■その他各種団体	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設アダプトプログラム(里親制度)養子縁組制度グループ ・防災ボランティア稲沢 ・社会教育委員 ・特定非営利活動法人メンタルネットワーク稲穂

ヒアリングの回答概要

1 不動産業者等
<ul style="list-style-type: none">○住宅地としての稲沢市のポテンシャルは高く、一宮市より評価が高い。○土地の供給量が少ないため、市外からの転入が増えない(稲沢市はベッドタウンではない)。○名古屋へのアクセス性が魅力となり、分譲住宅、分譲マンション、賃貸住宅いずれも需要あり。ただし、国府宮駅及びJR稲沢駅周辺に限定。○土地が出てこないため、中古住宅の流通も期待。○地権者に投資意欲がない。再開発による市街地の高度利用を誘導し、地権者の意識喚起を図ることが必要。
2 市内企業／商工会議所・商工会
<ul style="list-style-type: none">○主に中小企業を中心として後継者難に伴う事業承継に課題。○事業の拡張余地がない。平和工業団地はアクセス性や人材確保の面等に課題。○将来の地域の魅力向上に資する事業者(バナナ園、金時生姜)が創出。○新規創業のためのサロンの空間による起業マインド、スキル、ネットワークの形成に期待。○中小企業が独自に人材育成を行う余裕・ノウハウがなく、第三者によるサービス提供のニーズがある。○慢性的な人材不足。特に平和地区等の周辺部、中小企業、パートは人材が集まらない。○ビジネスマッチングは、複数の金融機関や商工会議所との連携による広域開催が効果的。○大企業では地産地消など地元と連携した活動に制約が多い。大学等との連携には関心。○市の東西アクセス(道路、公共交通)が事業推進において重要な課題。○地方創生の成功に向けて既存団体(観光協会、自治会(祖父江地区))の改善を要望。
3 農業関係者
<ul style="list-style-type: none">○食品スーパー主導により地産地消は増加傾向。○6次産業化など農業の価値創出に向けた取り組みは積極的に実施されていない。○下津地区の農地を活用した体験農園を企画する動きがあり、多様な機関による連携を期待。
4 市民活動団体／子育て支援機関
<ul style="list-style-type: none">○設立当初のメンバーから規模を拡張できていない団体が多い。○運営資金の確保に課題を抱えている。○行政による活動の認知、他機関等との橋渡し等が、活動活性化のポイントになると考えられている。
5 大学・短大・高校
<ul style="list-style-type: none">○地元企業からの求人は多くないため、就職を契機とした企業とのネットワークは強化されていない。○地元企業と連携した商品開発等の実績は多く、意欲も強い。対応可能な人材や資金確保が課題。○社会貢献に資する活動も多く、行政の側面的支援があれば地域の特徴的な取り組みとして、一層活発化する可能性。○広報や生涯学習、子育て支援等、行政が効果的に活用できていないシーズもある。○各学校が優秀な学生を獲得するうえで、稲沢市が魅力的であることが重要とされ、まちづくりに対する期待が大きい。
6 その他各種団体
<ul style="list-style-type: none">○成人式や敬老会、男女共同参画など、既存の社会教育活動が形骸化しており、民間活力を活用するとともに、本来実施すべき目的に立ち返った見直しが求められている。○タウンミーティングなど、市民意向を伝える集会形式の機会は発言しにくい雰囲気があり、若者や女性の意見を聞き取れる実施方法の見直しが期待。○市民主体によるまちづくり推進への期待がある一方、既存団体の高齢化や若者の巻き込み、活動資金や場所の確保が課題。○子どもとその親、高齢者、障害者への支援について、サービスの不足よりも、使いやすさや視点の見直しが求められる。○空き家利活用やゴミ捨て、消防・防災活動など、各種団体や地域コミュニティだけでは解決が難しい部分での行政サポートを期待。

次世代によるまちづくり提案

少子高齢化・人口減少が進む今日、若い世代に選ばれる地域の形成が重要であり、稲沢市の魅力や愛着が感じられるようなまちにしていけることが必要とされている。稲沢市まちづくりシンポジウム(平成 28 年 3 月 19 日)において、市内 2 大学の学生より、稲沢市が魅力的になるためのまちづくり提案を行っていただいた。

参加学校	名古屋文理大学	愛知文教女子短期大学
学生	大学での募集形式	大学での募集形式
担当教諭	地域連携センター 栗林教授 佐治課長、吉村氏	安藤副学長、朴先生、西澤先生
内容	<p>【学生視点からの稲沢市 魅力発信提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学生への簡易アンケート <ul style="list-style-type: none"> ・「稲沢には魅力がない」ことは、「稲沢市で楽しむ機会を知らない」ことに原因があるのではないか。 ■ 稲沢市を分類して研究する <ul style="list-style-type: none"> ①現状：学生(若者)が集まる。魅力は既に存在。 ②不足点：魅力の未認知。ときめかない情報発信。 ③回避点：名古屋のペットタウンを謳うより、稲沢の魅力を描き、居住者増加に繋げたい。 ■ 新しい提案 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルサイネージの導入 (効果ある情報発信)。 ・プロジェクションマッピング等での大学とのコラボ。 ・「ちょっと気になる稲沢」で若者流出・人口減を防ぐ。 	<p>【女子短大生が考える未来ストーリー IN 稲沢】 (若者の未来ストーリーに沿って、まちづくりを提案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ LINE の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・若者の目に留まる媒体は SNS。活用効果が高い。 ■ 祭りやイベントの活性化・ネーミングに親しみを <ul style="list-style-type: none"> ・興味をそそる名称は、若者参画や情報拡散を促す。 ■ 街をそのまま使えるイルミネーション <ul style="list-style-type: none"> ・既存資源を魅力的に活用し、新たなスポットを作る。 ■ 充実した子育て支援制度の若い世代への周知 <ul style="list-style-type: none"> ・結婚・子育て期を迎えた人の U ターンに繋がる。 ■ 安心してらせる市・家族でボランティア <ul style="list-style-type: none"> ・親子参加型の活動は、地域での子育てに繋がる。
備考	2015 年 7 月より、学生募集・内容検討を開始。稲沢の魅力発信に係る仮説立てを行い、フィールドワークを交えて、動画を含む提案コンテンツを制作。	2015 年 7 月より、学生募集・内容検討を開始。活動の進捗状況を大学 HP に公表しながら、ドラマ仕立の提案コンテンツを制作。

